

野村アセットマネジメント

NOMURA

確定拠出年金に関する意識調査2024

2024/12/18

資産運用研究所

金融資本市場の力で、世界と共に挑戦し、豊かな社会を実現する

We aspire to create a better world by harnessing the power of financial markets

STRICTLY PRIVATE
AND CONFIDENTIAL

© Nomura

調査概要

- 調査手法 : インターネット調査
- 調査対象 : 20歳～69歳・男女個人 ※関連業種（金融業界、市場調査、報道機関、広告代理店）の従事者は除外
- 有効回収数 : 9,053サンプル（回収ベース） ※エリア×性別×年代の母集団準拠で回収、スクリーニング調査は103,118人に実施
- サンプル数内訳 : 企業型DC加入者3,956（43.7%）、iDeCo加入者3,479（38.4%）、DC未加入者2,729（30.1%）
- 調査地域 : 全国
- 調査時期 : 2024年11月1日(金)～11月5日(火)
- ウェイトバック :

企業型DC加入者、iDeCo加入者、DC未加入者の人数を既存統計に合わせた上で、それぞれの内訳についても可能な限り既存統計と整合的になるようウェイトバックして集計拡大推計を可能とするため、日本の20～69歳の人口に合わせて度数を計算
資料中のnはウェイトバック無しの数字、図表はウェイトバック有りの数字を用いて表示

基本属性別構成比

区分	項目	サンプル数	構成比	区分	項目	サンプル数	構成比	区分	項目	サンプル数	構成比
全体	合計	9,053	100%	職業別	会社員等	6,484	72%	年間収入	わからない等	2,036	22%
年代	20歳代	977	11%		自営/自由業	318	4%	(世帯)	300万円未満	1,013	11%
	30歳代	1,892	21%		派遣・契約社員等	1,152	13%		600万円未満	2,269	25%
	40歳代	2,610	29%		学生	95	1%		1,000万円未満	2,439	27%
	50歳代	2,470	27%		専業主婦(夫)	415	5%		2,000万円未満	1,154	13%
	60歳代	1,104	12%		無職他	589	7%		2,000万円以上	142	2%
性別	男性	6,057	67%	DC加入別	企業型DC加入者	3,956	44%	金融資産	わからない	3,162	35%
	女性	2,996	33%		iDeCo加入者	3,479	38%	(世帯)	金融資産なし	1,422	16%
婚姻別	結婚している	5,048	56%		併用者	1,111	12%		200万円未満	1,346	15%
	結婚していない	4,005	44%		未加入者	2,729	30%		500万円未満	893	10%
				NISA	利用者	4,232	47%		1,000万円未満	653	7%
					非利用者	4,821	53%		5,000万円未満	1,234	14%
									1億円未満	211	2%
									1億円以上	132	1%

※本資料において、各数値は小数点以下第1位を四捨五入した整数で表示(利回りを除く)

当資料は意識調査の内容を開示することを目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しております。当資料に示された内容等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。また特定の銘柄の推奨や売買等を示唆するものではありません。

調査結果の主な要点

I 老後資金に対する取組み

- ✓ 老後の生活資金に不安を持つ人は全体の約7割と多い
- ✓ 老後資金のために預貯金をしている人は約6割存在する一方、資産運用をしている人は3割程度
- ✓ iDeCoを利用する理由は「節税効果」（57%）、「将来に備えるため」（36%）が多い

II 制度利用に関する意識と実態

- ✓ 確定拠出年金制度に加入していても、制度の内容やWebサイトの操作方法の理解が不足している人が目立つ
- ✓ 今後選択したい商品は、多い順に全世界株式、米国株式、国内株式（いずれもインデックス型投信）
- ✓ 「リスク資産を持ちたくない」「何を買うのが良いかわからない」との理由で元本確保型商品を保有する人が多い
- ✓ 企業型DCとiDeCoにおける実績利回りの平均は各6.5%、7.3%、期待利回りの平均は各8.7%、9.0%

III 金融リテラシーと継続投資教育

- ✓ 金融リテラシー・テストにおける正答率の平均は40%とOECD調査の65%と比べ低い
- ✓ 過去3年以内に継続投資教育を受けたと回答した人は約2割にとどまる一方、受けたいと回答した人は全体で46%
- ✓ 継続投資教育で役に立った内容は「制度の基本的な内容」、今後受けたい内容は「税制メリット」が首位

目次

I 老後資金に対する取組み

・ 老後資金に対する不安と取組み	…P5
・ iDeCoの利用理由	…P6
・ iDeCoの非利用理由	…P7

II 制度利用に関する意識と実態

・ 制度の認知・理解度	…P9
・ 制度の利用意向	…P10
・ 確定拠出年金制度において認知されている項目	…P11
・ 確定拠出年金制度において評価されている項目	…P12
・ 確定拠出年金制度において不便・不満に感じる点	…P13
・ 運用商品の構成比率：企業型DC、iDeCo	…P14-15
・ 商品の選択：企業型DC、iDeCo	…P16-17
・ 商品を選択する時に重視すること：企業型DC、iDeCo	…P18-19
・ 元本確保型商品を保有している理由	…P20
・ 実績利回りと期待利回り：企業型DC、iDeCo	…P21-22

III 金融リテラシーと継続投資教育

・ 金融リテラシー調査	…P24
・ 金融リテラシー・テストの正答率	…P25
・ 元本確保型の保有割合とリテラシー・利回り・満足度	…P26
・ 企業型DCにおける投資教育の受講経験	…P27
・ 企業型DCにおける継続投資教育の受講意向	…P28
・ 継続投資教育で役に立った内容	…P29
・ 継続投資教育で今後受けてみたい内容	…P30
・ 継続投資教育を受けたい受講先	…P31

Appendix

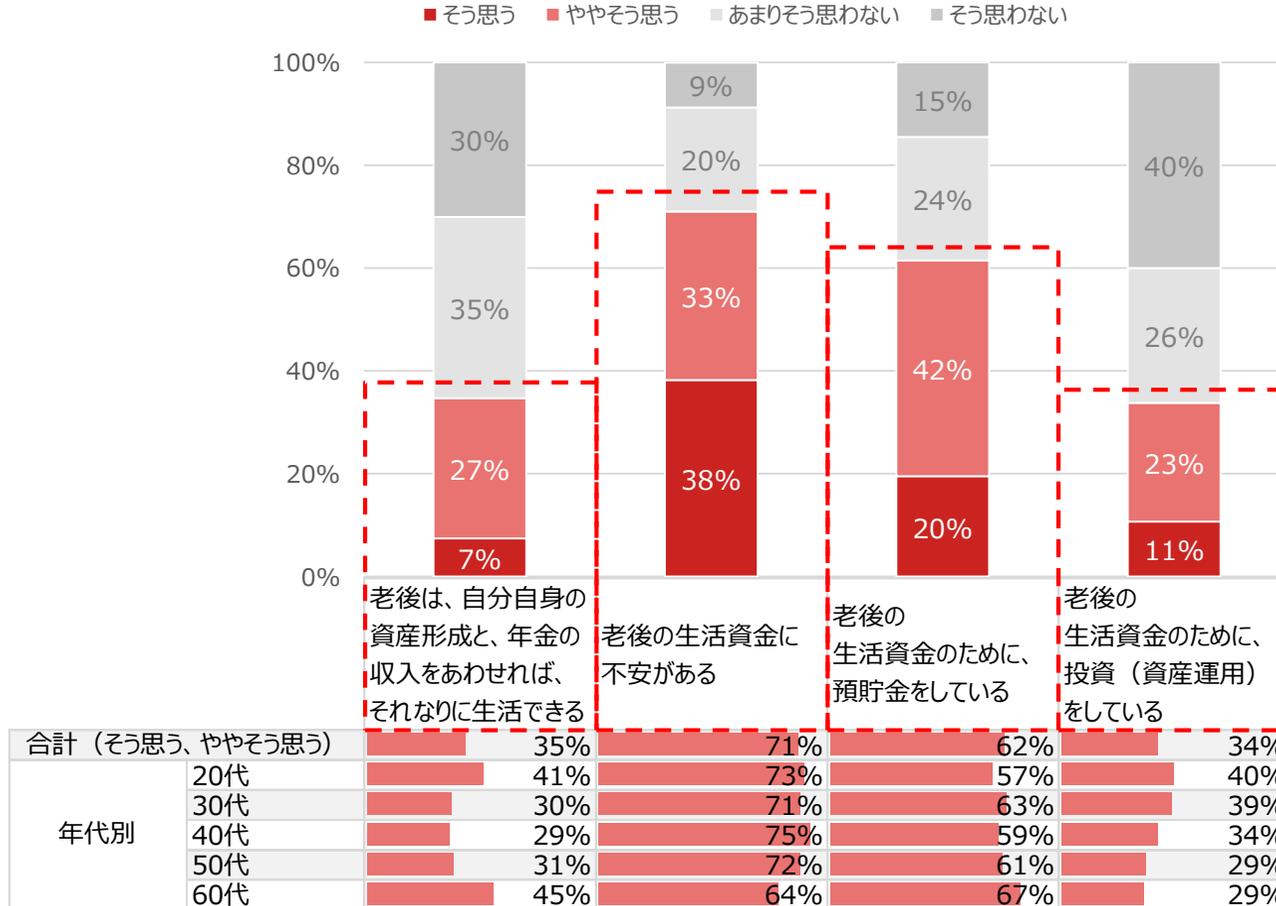
・ 指定運用方法	…P33
・ 確定拠出年金制度における満足度（Webサイト）	…P34
・ 残高確認の頻度	…P35
・ 配分変更・スイッチングの頻度	…P36
・ 配分変更・スイッチングのきっかけ	…P37
・ 老齢給付金を受け取りたい年齢・受取方法：企業型DC、iDeCo	…P38-39
・ リタイアメントと公的年金の受給開始年齢	…P40

I 老後資金に対する取組み

老後資金に対する不安と取組み

- 老後は自身の資産と年金でそれなりに生活できると思う人は35%であり、老後の生活資金に不安がある人は7割を超える
- 老後の生活資金のために預貯金をしている人は62%である一方、投資（資産運用）をしている人は34%にとどまる

Q) 老後資金、投資（資産運用）に関する以下の項目について、あなたはどの程度そう思いますか。（単一回答 全体 n=9,053）



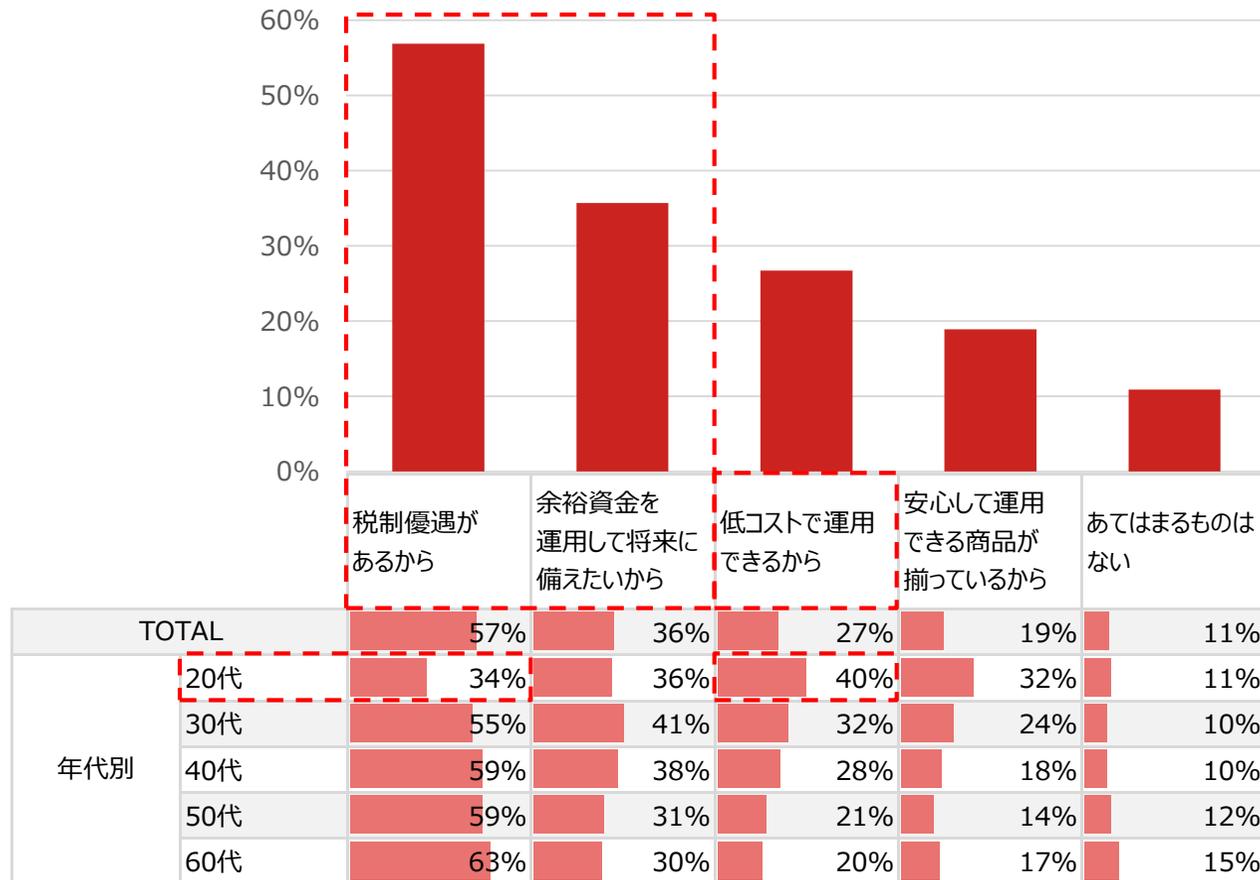
※表内の数値は「そう思う」「ややそう思う」との回答を合計

当資料は意識調査の内容を開示することを目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しております。当資料に示された内容等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。また特定の銘柄の推奨や売買等を示唆するものではありません。

iDeCoの利用理由

- 「税制優遇があるから」が57%と最も多く、「余裕資金を運用して将来に備えたいから」が36%と続く
- 20代は「低コストで運用できるから」が最も多く、「税制優遇があるから」を理由とする人は他の年代と比べ相対的に少ない

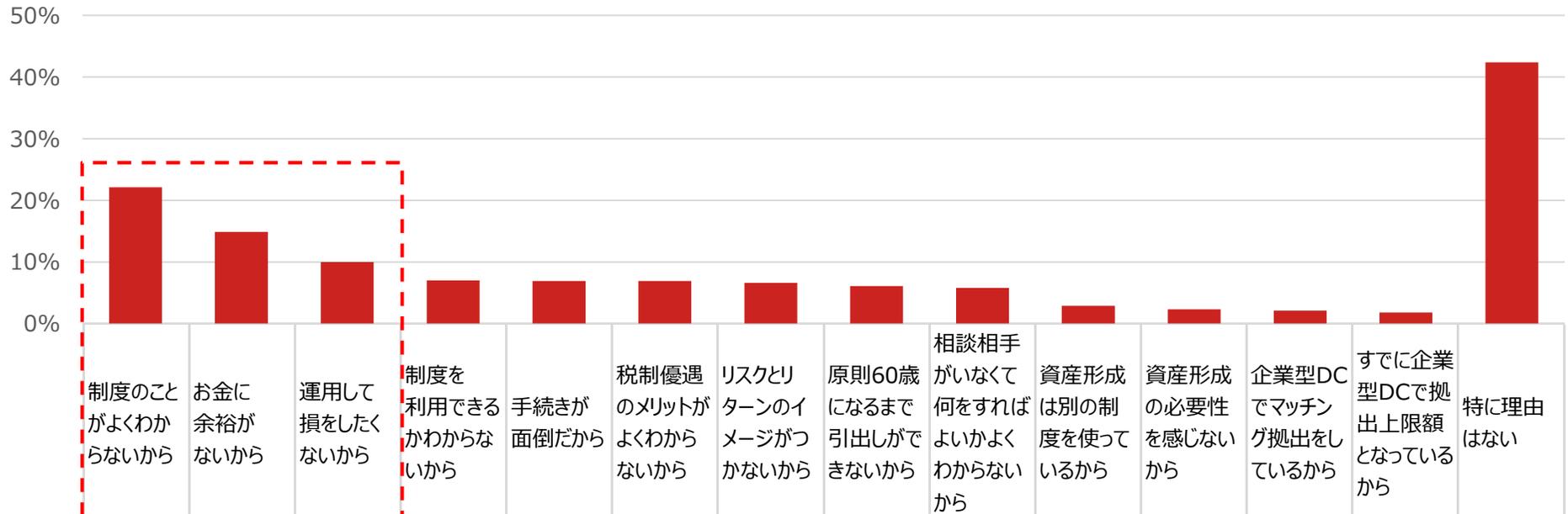
Q) あなたが、以下の税制優遇制度を利用している理由として、あてはまるものをすべてお答えください：iDeCo（複数回答 iDeCo加入者 n=3,479）



iDeCoの非利用理由

■ 「制度のことがよくわからないから」が22%と最も多く、「お金に余裕がないから」「運用して損をしたくないから」が続く

Q) あなたが、以下の税制優遇制度を利用していない理由として、あてはまるものをすべてお答えください：iDeCo（複数回答 iDeCo未加入者 n=5,574）



	制度のことがよくわからないから	お金に余裕がないから	運用して損をしたくないから	制度を利用できないから	手続きが面倒だから	税制優遇のメリットがよくわからないから	リスクとリターンのイメージがつかないから	原則60歳になるまで引出しができないから	相談相手がいないと何をすればよいかよくわからないから	資産形成は別の制度を使っているから	資産形成の必要性を感じないから	企業型DCでマッチング拠出をしているから	すでに企業型DCで拠出上限額となっているから	特に理由はない
TOTAL	22%	15%	10%	7%	7%	7%	7%	6%	6%	3%	2%	2%	2%	42%
年代別														
20代	24%	10%	8%	7%	8%	6%	7%	10%	6%	2%	3%	3%	3%	40%
30代	28%	15%	10%	6%	11%	6%	8%	8%	6%	4%	2%	3%	2%	37%
40代	23%	20%	11%	8%	7%	8%	5%	6%	10%	3%	2%	3%	2%	41%
50代	22%	16%	10%	7%	6%	7%	7%	5%	5%	3%	2%	1%	2%	42%
60代	15%	12%	11%	7%	4%	7%	5%	3%	2%	3%	3%	1%	0%	50%

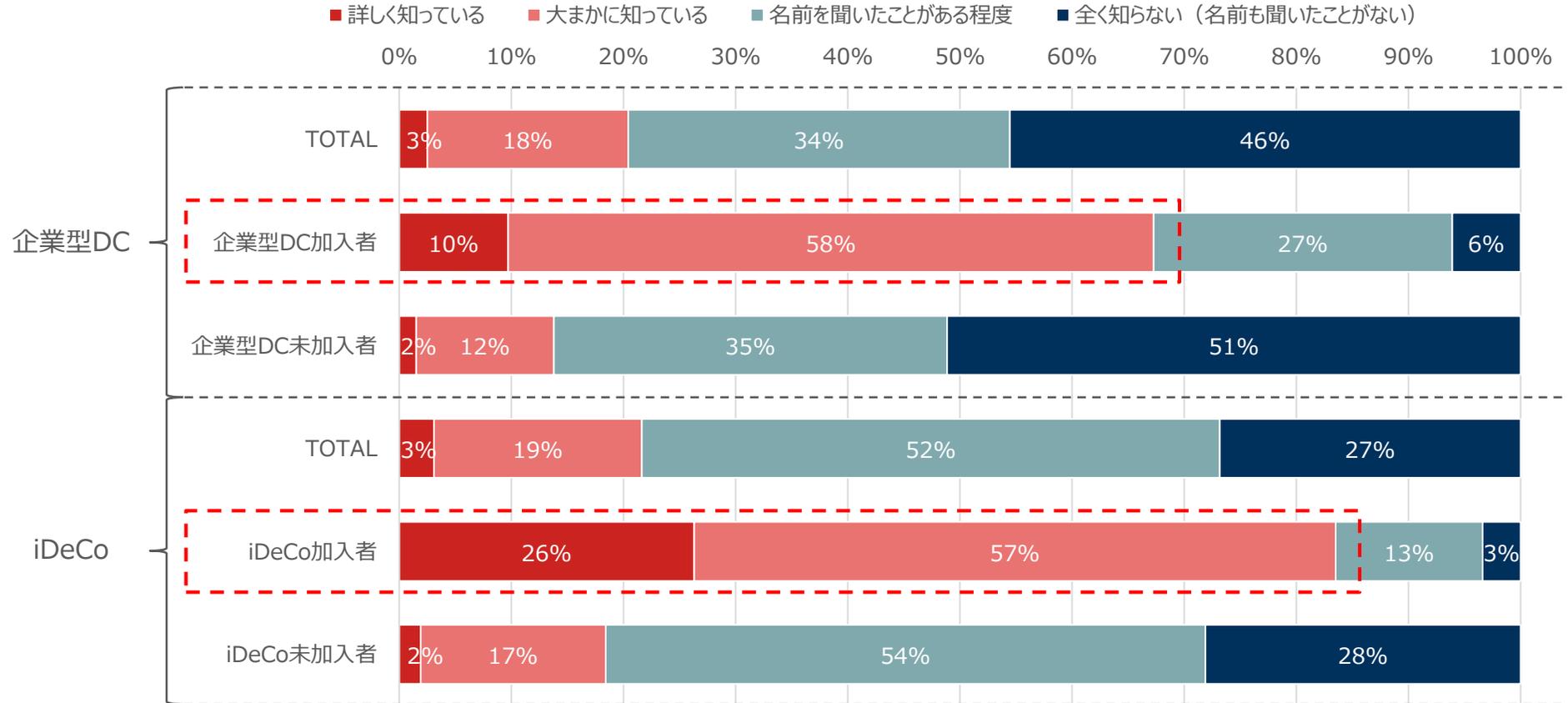
当資料は意識調査の内容を開示することを目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しております。当資料に示された内容等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。また特定の銘柄の推奨や売買等を示唆するものではありません。

Ⅱ 制度利用に関する意識と実態

制度の認知・理解度

- 企業型DC加入者で制度について理解している（※）人は67%、理解が不十分なままに利用している人も33%
- iDeCo加入者で制度について理解している人は84%、未加入者で理解していない人は8割を超える

Q) 以下の投資（資産運用）に関する税制優遇制度について、あなたはどの程度ご存じですか。（単一回答 全体 n=9,053）



※「理解している」は「詳しく知っている」と「大まかに知っている」との回答を集計

当資料は意識調査の内容を開示することを目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しております。当資料に示された内容等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。また特定の銘柄の推奨や売買等を示唆するものではありません。

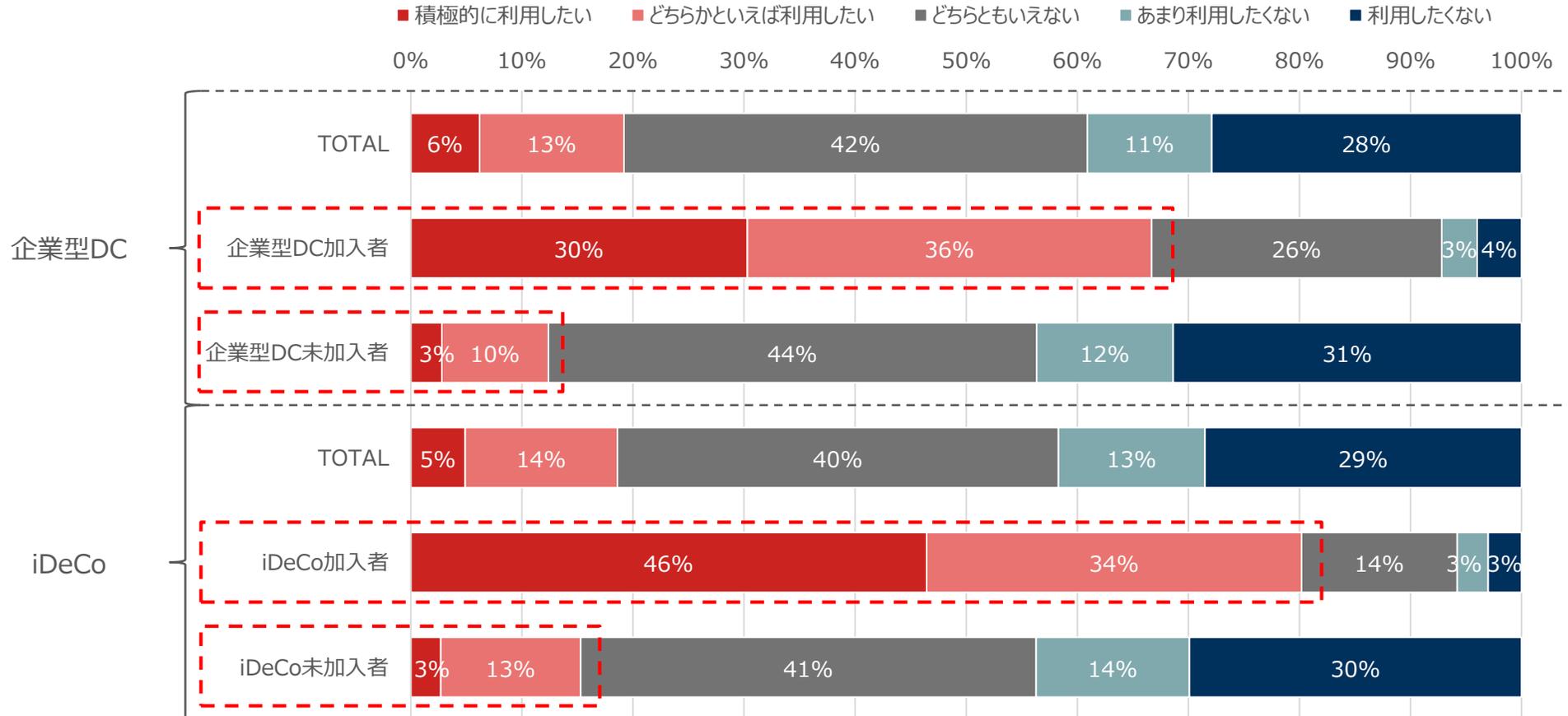
制度の利用意向

- 企業型DCの今後の利用意向（※）は、加入者では約7割である一方、未加入者では12%にとどまる
- iDeCoの今後の利用意向は、加入者では約8割である一方、未加入者では15%にとどまる

Q) 今後3年程度の期間を想定して、以下の投資（資産運用）に関する税制優遇制度を、あなたはどの程度利用したいと思いますか。（単一回答 全体 n=9,053）

※現在利用している方は、継続利用意向についてお答えください。

※企業型DCについては、勤務先等が導入していると想定してお答えください。



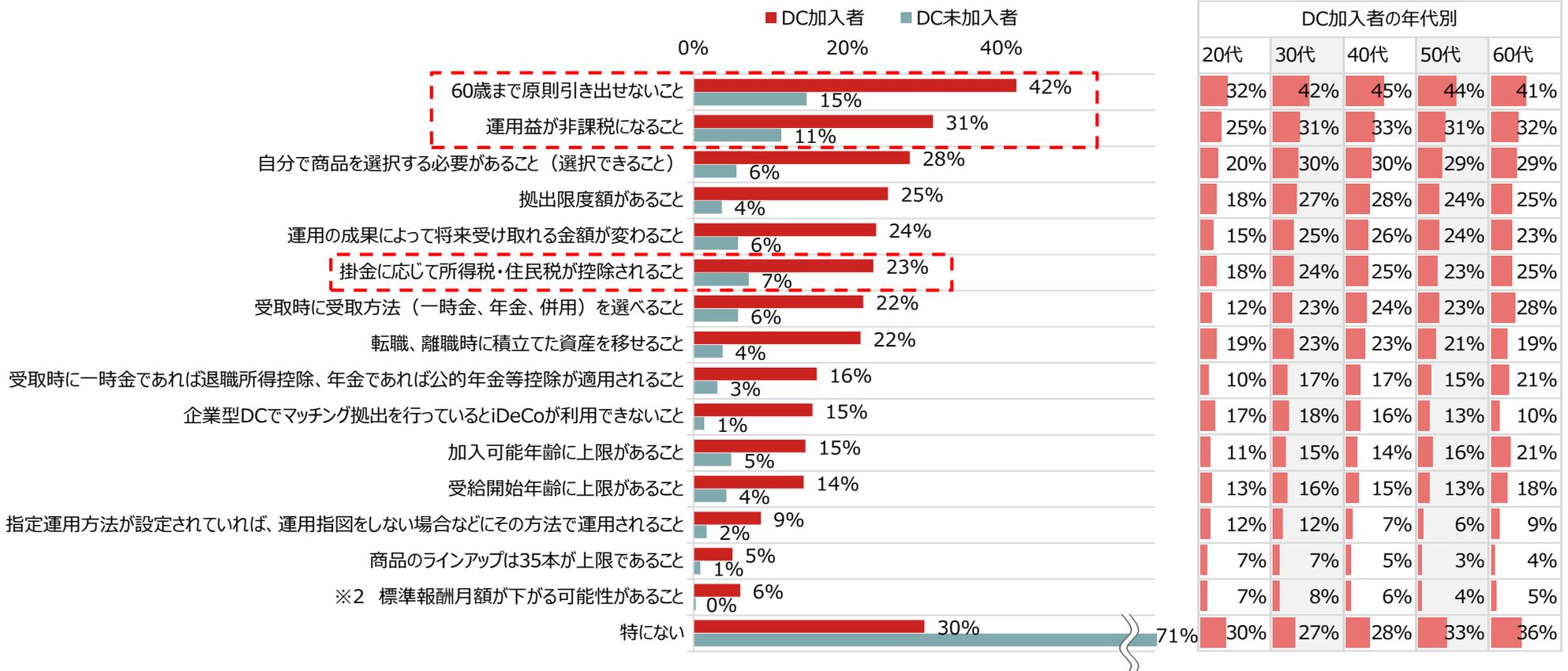
※「利用意向」は「積極的に利用したい」と「どちらかといえば利用したい」との回答を集計

当資料は意識調査の内容を開示することを目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しております。当資料に示された内容等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。また特定の銘柄の推奨や売買等を示唆するものではありません。

確定拠出年金制度において認知されている項目

- DC加入者（※1）、未加入者ともに「60歳まで原則引き出せないこと」が最も多く、「運用益が非課税になること」が続く
- 税制優遇関連では、「運用益が非課税になること」「掛金に応じて所得税・住民税が控除されること」が比較的認知されている

Q) 確定拠出年金制度（企業型DC・iDeCo）に関して、あなたが「知っていること」としてあてはまるものをすべてお答えください。（複数回答 全体 n=9,053）

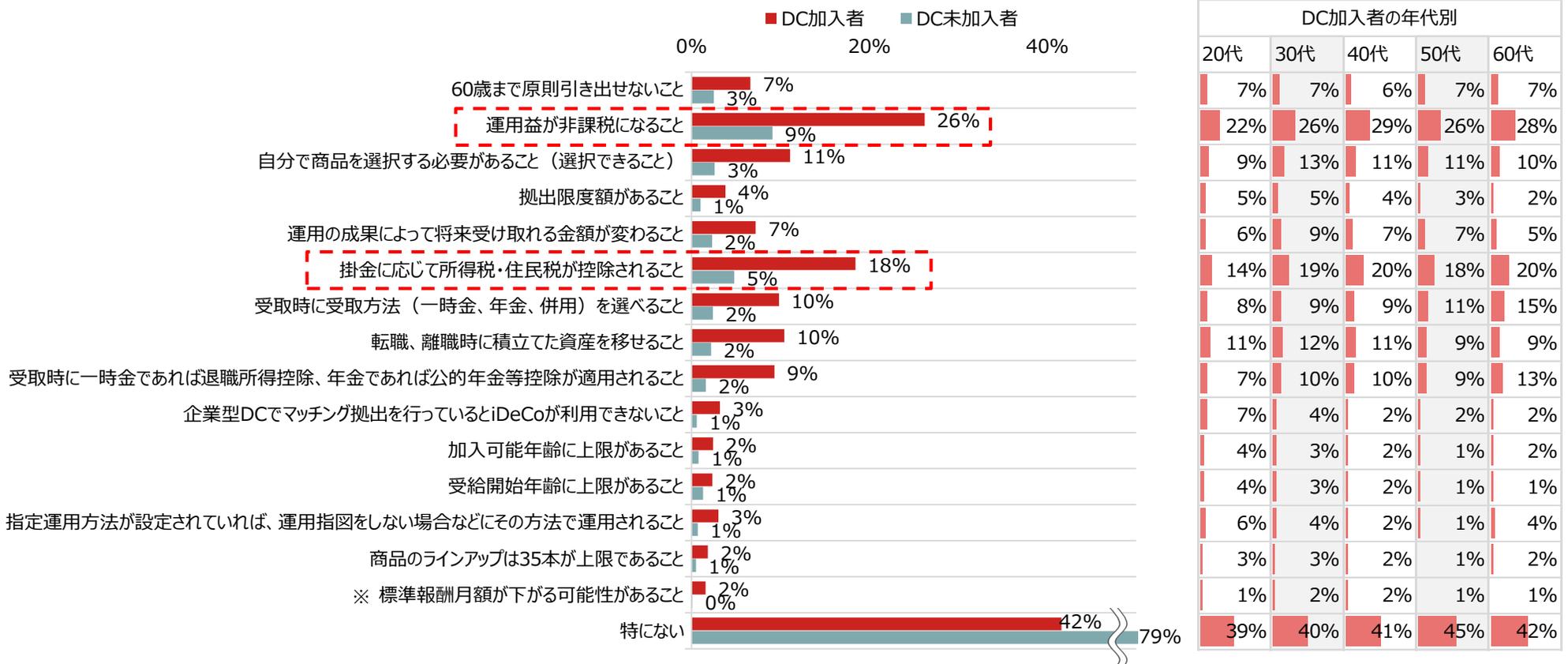


※1 DC加入者とは企業型DCまたはiDeCoに加入している人のことを指す（以下、同）
 ※2 「標準報酬月額が下がる可能性があること」は選択制DCが勤務先に導入されている人のみ回答

確定拠出年金制度において評価されている項目

■ DC加入者、未加入者ともに「運用益が非課税になること」が最も多く、「掛金に応じて所得税・住民税が控除されること」が続く

Q) 確定拠出年金制度（企業型DC・iDeCo）に関して、あなたが「評価すること」としてあてはまるものをすべてお答えください。（複数回答 全体 n=9,053）



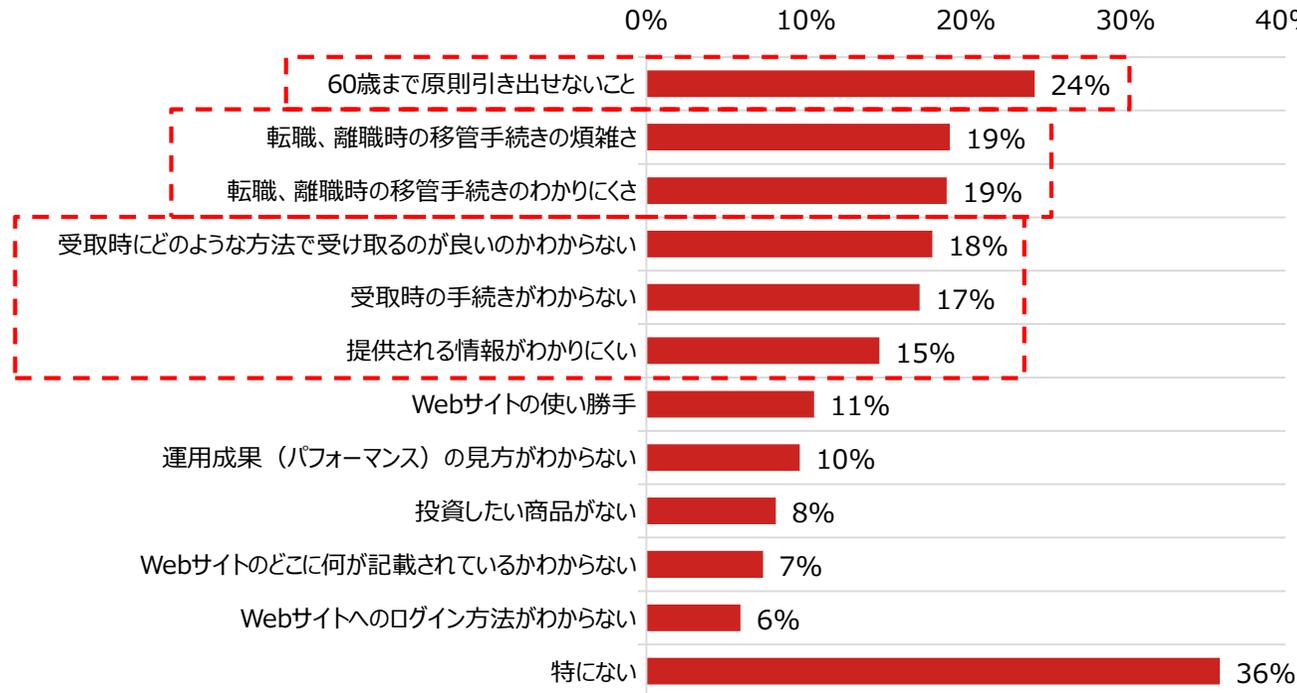
※「標準報酬月額が下がる可能性があること」は選択制DCが勤務先に導入されている人のみ回答

当資料は意識調査の内容を開示することを目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しております。当資料に示された内容等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。また特定の銘柄の推奨や売買等を示唆するものではありません。

確定拠出年金制度において不便・不満に感じること

- 「60歳まで原則引き出せないこと」が24%と最も多い
- 転職、離職時の移換手続きの煩雑さやわかりにくさを不便・不満に感じる人も多い

Q) 確定拠出年金（企業型DC・iDeCo）の利用にあたって、あなたが不便・不満だと感じるものをすべてお答えください。（複数回答 DC加入者 n=6,324）



	年代別				
	20代	30代	40代	50代	60代
60歳まで原則引き出せないこと	28%	28%	25%	21%	14%
転職、離職時の移換手続きの煩雑さ	18%	24%	21%	15%	13%
転職、離職時の移換手続きのわかりにくさ	17%	23%	21%	15%	12%
受取時にどのような方法で受け取るのが良いかわからない	13%	22%	19%	17%	16%
受取時の手続きがわからない	17%	20%	17%	15%	14%
提供される情報がわかりにくい	12%	16%	14%	14%	17%
Webサイトの使い勝手	13%	12%	10%	9%	8%
運用成果（パフォーマンス）の見方がわからない	8%	12%	10%	9%	7%
投資したい商品がない	10%	8%	8%	8%	7%
Webサイトのどこに何が記載されているかわからない	11%	9%	7%	6%	5%
Webサイトへのログイン方法がわからない	11%	7%	5%	4%	3%
特にない	30%	32%	34%	42%	46%

運用商品の構成比率：企業型DC

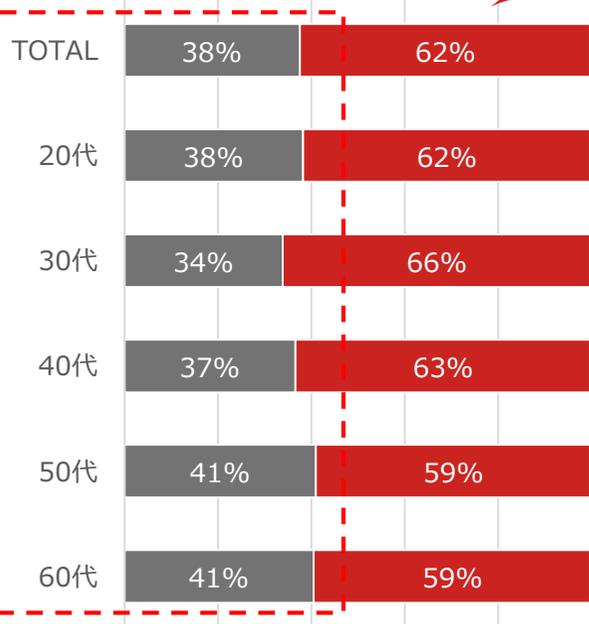
- 選択している商品の構成比率を把握していない人は38%。全年代で約4割前後にのぼる
- 商品の構成比率は年代が上がるにつれてバランス、外国・新興国株式が減少し、元本確保型（定期預金、保険）が増加

Q) 現在あなたが、確定拠出年金（企業型DC・iDeCo）で運用している商品の構成比をお答えください。（数値回答 企業型DC加入者 n=3,956）
 ※企業型DCとiDeCoを併用している方は、企業型DCについてお答えください。
 ※合計が100%になるように整数でお答えください。

選択している商品を把握している割合

■ わからない ■ わかる

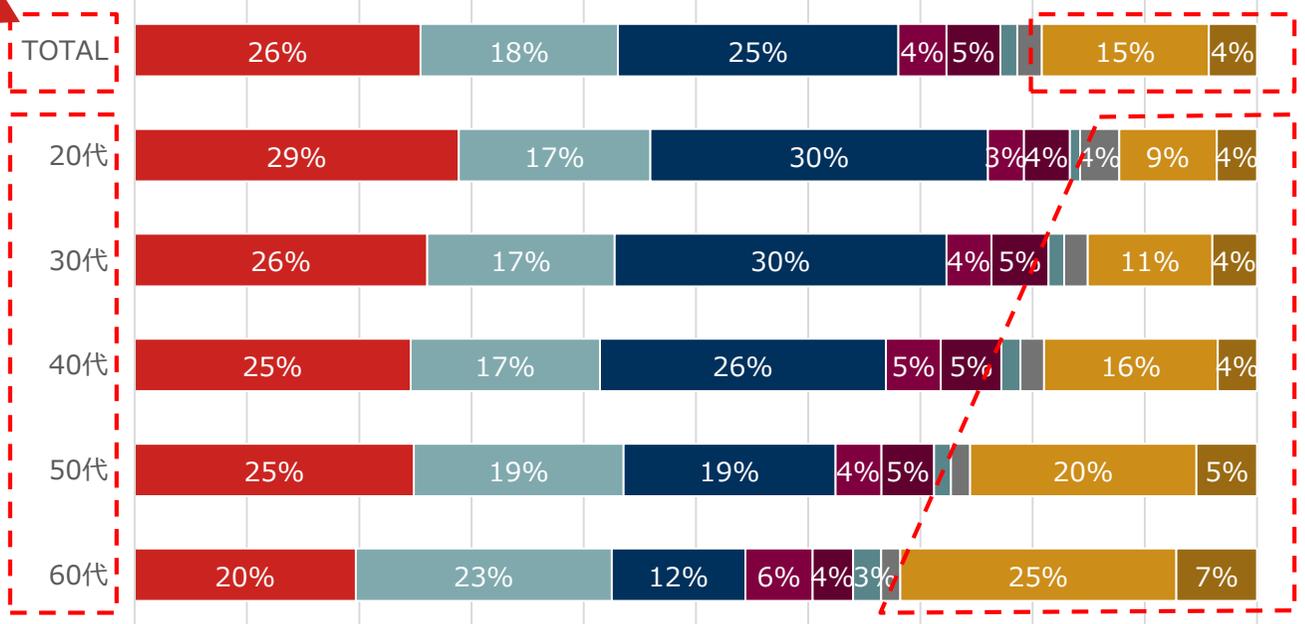
0% 20% 40% 60% 80% 100%



選択している商品を把握している人の商品の構成比率

■ バランス ■ 国内株式 ■ 外国・新興国株式
 ■ 国内債券 ■ 外国・新興国債券 ■ REIT
 ■ その他 ■ 定期預金 ■ 保険（生命保険・損害保険）

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



運用商品の構成比率：iDeCo

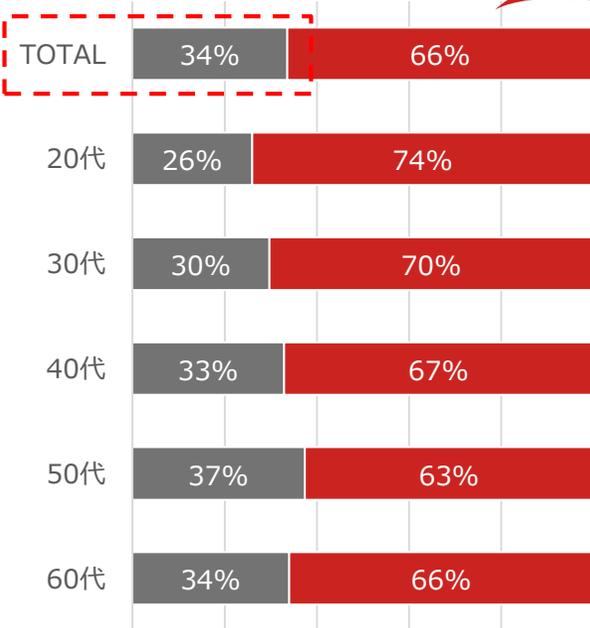
- 選択している商品の構成比率を把握していない人は34%
- 商品の構成比率は20代ではバランスが多く、30代～50代では外国・新興国株式が多い

Q) 現在あなたが、確定拠出年金（企業型DC・iDeCo）で運用している商品の構成比をお答えください。（数値回答 iDeCoのみ加入者 n=2,368）
 ※企業型DCとiDeCoを併用している方は、企業型DCについてお答えください。
 ※合計が100%になるように整数でお答えください。

選択している商品を把握している割合

■ わからない ■ わかる

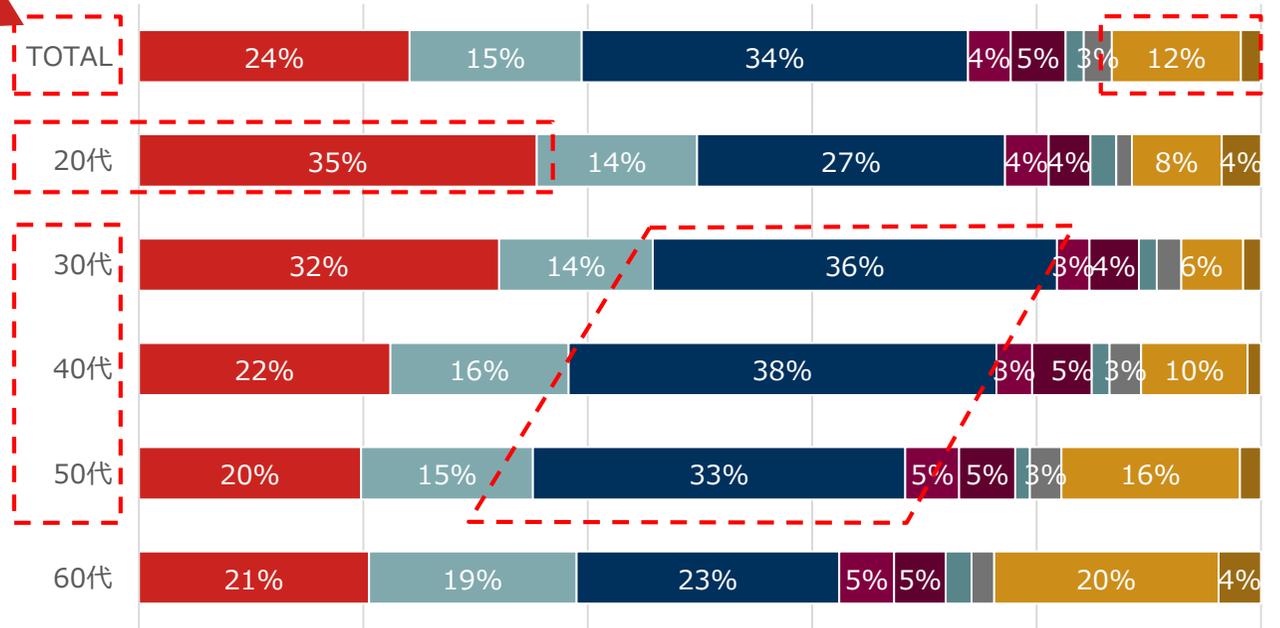
0% 20% 40% 60% 80% 100%



選択している商品を把握している人の商品の構成比率

■ バランス ■ 国内株式 ■ 外国・新興国株式
 ■ 国内債券 ■ 外国・新興国債券 ■ REIT
 ■ その他 ■ 定期預金 ■ 保険（生命保険・損害保険）

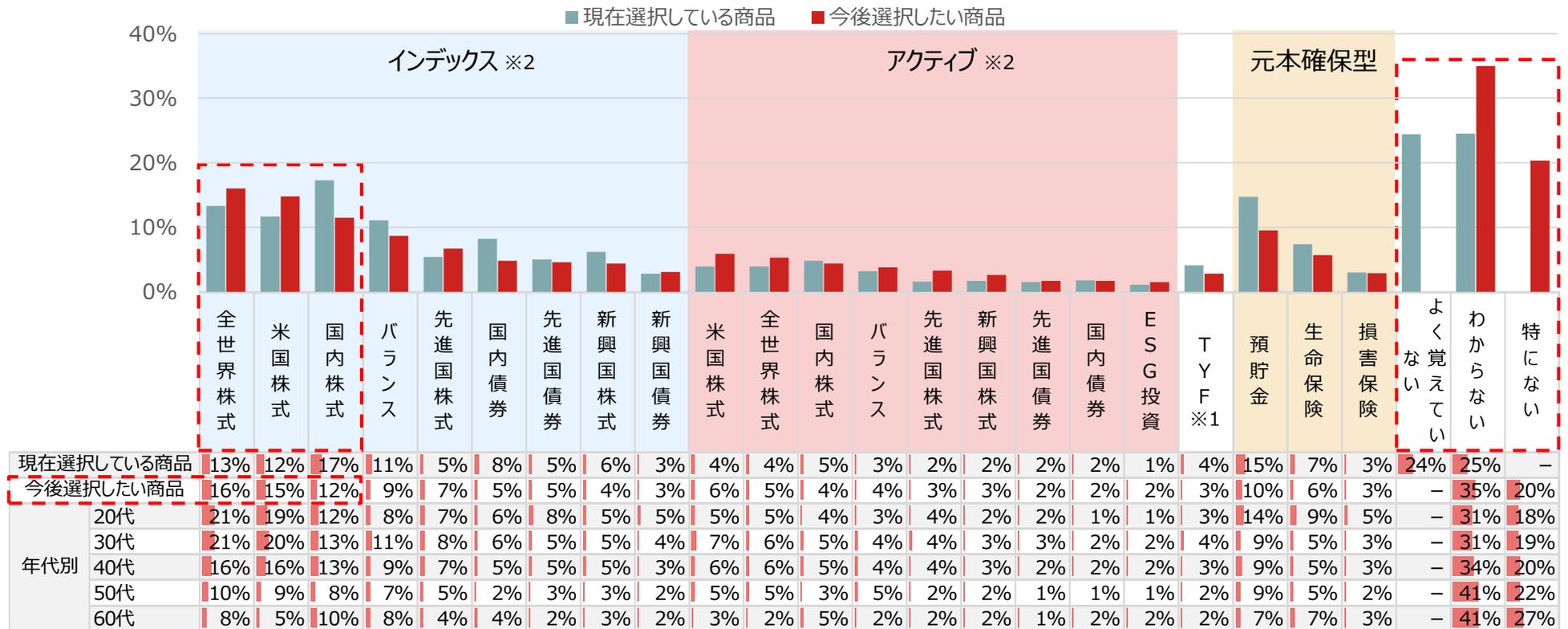
0% 20% 40% 60% 80% 100%



商品の選択：企業型DC

- 今後選択したい商品では「全世界株式」が最も多く、「米国株式」、「国内株式」（いずれもインデックス型投信）が続く
- 現在選択している商品について「よく覚えていない」が24%、「わからない」が25%
- 今後選択したい商品について「わからない」が35%、「特にない」が20%

Q) あなたが、確定拠出年金（企業型DC・iDeCo）において、「現在選択している商品」と「今後選択したい商品」についてお答えください。それぞれ、「選択しているすべての商品」をお答えください。
 (複数回答 企業型DC加入者 n=3,956)
 ※企業型DCとiDeCoを併用している方は、企業型DCについてお答えください。

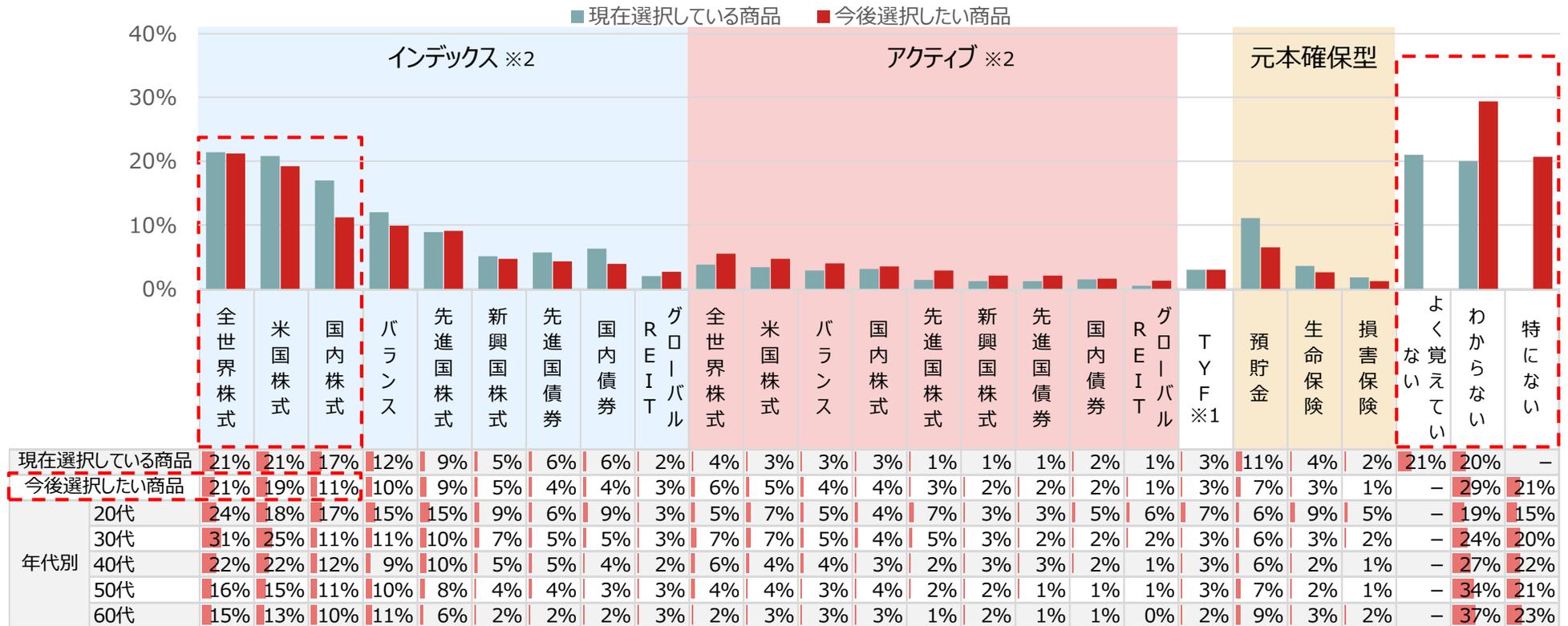


※1 「TYF」は「ターゲット・イヤー・ファンド」を指す
 ※2 インデックス、アクティブともに下位3位を非表示としている

商品の選択：iDeCo

- 今後選択したい商品では「全世界株式」が最も多く、「米国株式」、「国内株式」（いずれもインデックス型投信）が続く
- 現在選択している商品について「よく覚えていない」が21%、「わからない」が20%
- 今後選択したい商品について「わからない」が29%、「特にない」が21%

Q) あなたが、確定拠出年金（企業型DC・iDeCo）において、「現在選択している商品」と「今後選択したい商品」についてお答えください。それぞれ、「選択しているすべての商品」をお答えください。
 （複数回答 iDeCoのみ加入者 n=2,368）
 ※企業型DCとiDeCoを併用している方は、企業型DCについてお答えください。

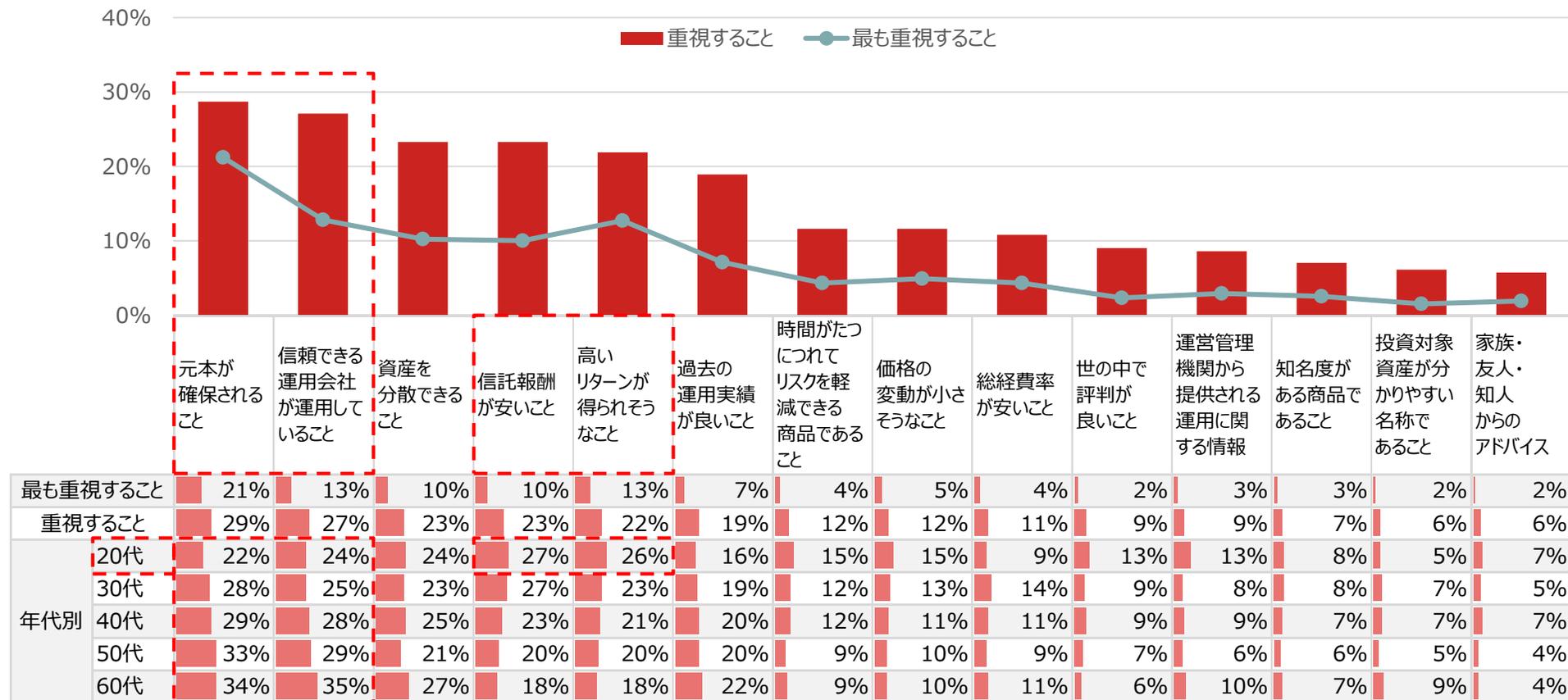


※1 「TYF」は「ターゲット・イヤー・ファンド」を指す
 ※2 インデックス、アクティブともに下位3位を非表示としている

商品を選択する時に重視すること：企業型DC

- 「元本が確保されること」が29%と最も多く、「信頼できる運用会社が運用していること」が27%と続く。年代が上がるにつれ、その割合が高くなる
- 20代では「信託報酬が安いこと」が最も多く、「高いリターンが得られそうなこと」が続く

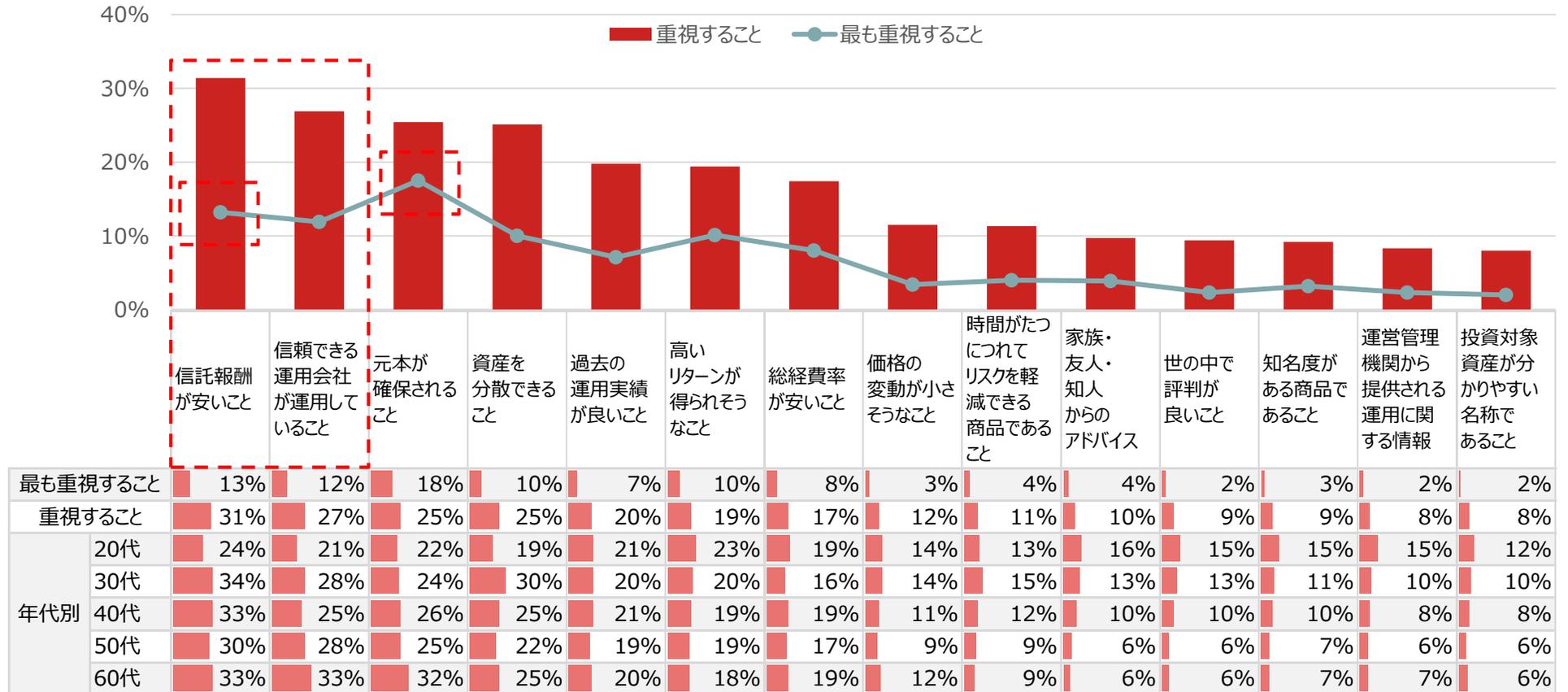
Q) あなたが、確定拠出年金（企業型DC）の商品を選択する時に、重視することをすべてお答えください。また、その中で最も重視することをお答えください。
 (複数・単一回答 企業型DC加入者 n=3,956)



商品を選択する時に重視すること：iDeCo

- 「信託報酬が安いこと」が31%と最も多く、「信頼できる運用会社が運用していること」が27%と続く
- 最も重視することでは、「元本が確保されること」が18%と最も多く、「信託報酬が安いこと」が13%と続く

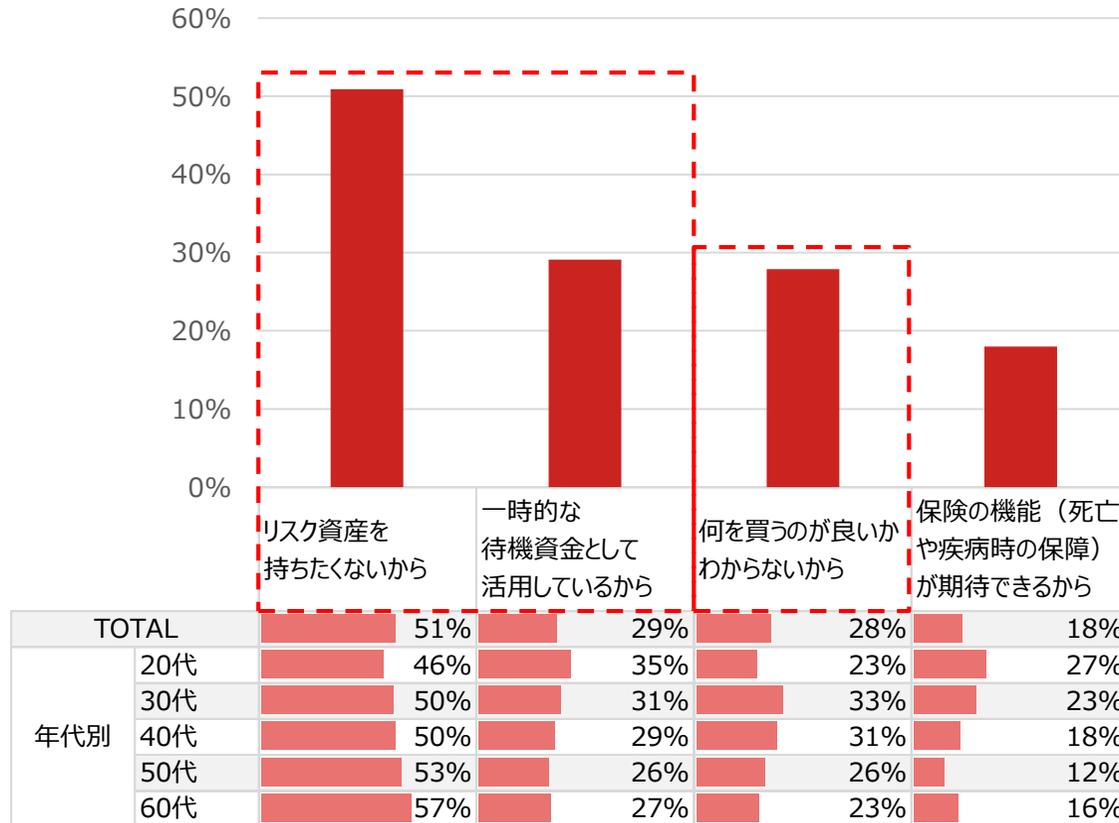
Q) あなたが、確定拠出年金（iDeCo）の商品を選択する時に、重視することをすべてお答えください。また、その中で最も重視することをお答えください。
 (複数・単一回答 iDeCo加入者 n=3,479)



元本確保型商品を保有している理由

- 「リスク資産を持ちたくないから」が5割を超え、「一時的な待機資金として活用しているから」が約3割と続く
- 「何を買うのが良いかわからないから」も28%と多い

Q) あなたが、元本確保型商品（保険・定期預金）を保有している理由としてあてはまるものをすべてお答えください。（複数回答 元本確保型保有者※ n=1,712）



※元本確保型保有者とは、商品の構成比率で元本確保型に1%以上割り振った人、あるいは、選択している商品において元本確保型商品を保有していると回答した人を指す

当資料は意識調査の内容を開示することを目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しております。当資料に示された内容等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。また特定の銘柄の推奨や売買等を示唆するものではありません。

実績利回りと期待利回り：企業型DC

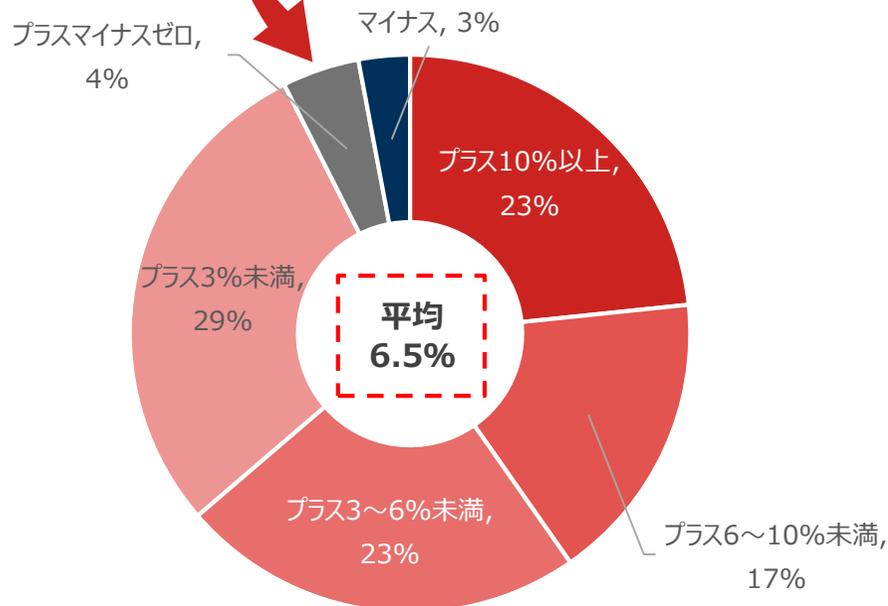
- 実績利回りを把握している人は50%、また、実績利回りの確認方法を知らない人は32%
- 実績利回りの平均は6.5%に対し、期待利回りの平均は8.7%と高い

Q) 確定拠出年金（企業型DC）の運用における実績利回りと期待する利回りについてお答えください。（単一回答 企業型DC加入者 n=3,956）

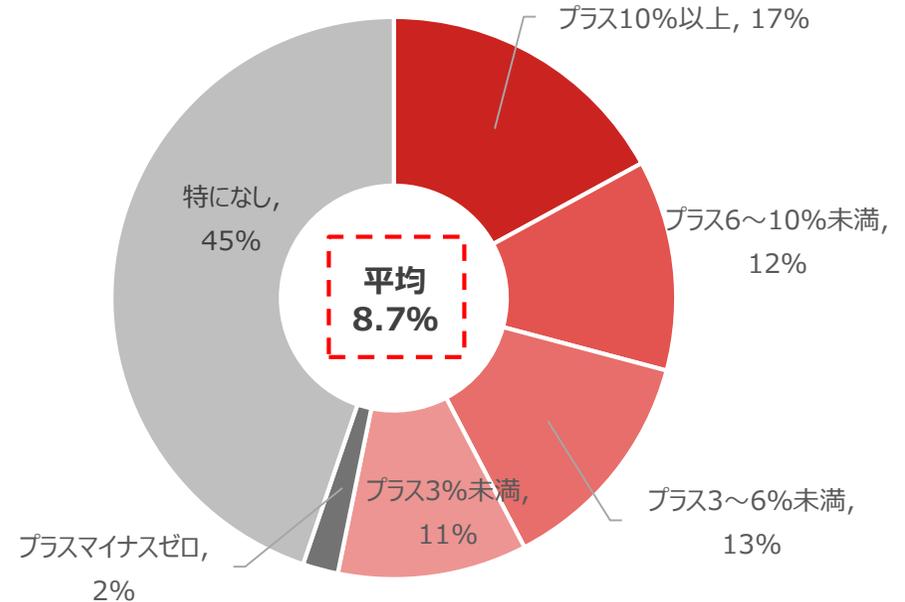
実績利回り（年率）

■ わかる ■ わからない（確認方法は知っている） ■ わからない（確認方法を知らない）

0% 20% 40% 60% 80% 100%



期待利回り（年率）



実績利回りと期待利回り：iDeCo

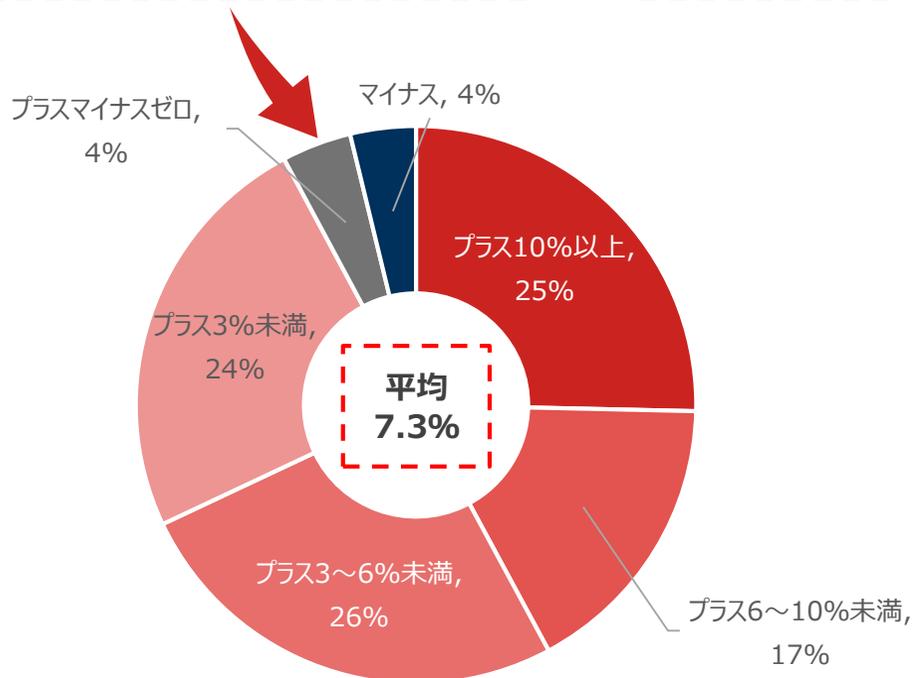
- 実績利回りを把握している人は56%、また、実績利回りの確認方法を知らない人は26%
- 実績利回りの平均は7.3%に対し、期待利回りの平均は9.0%と高い

Q) 確定拠出年金（iDeCo）の運用における実績利回りと期待する利回りについてお答えください。（単一回答 iDeCo加入者 n=3,479）

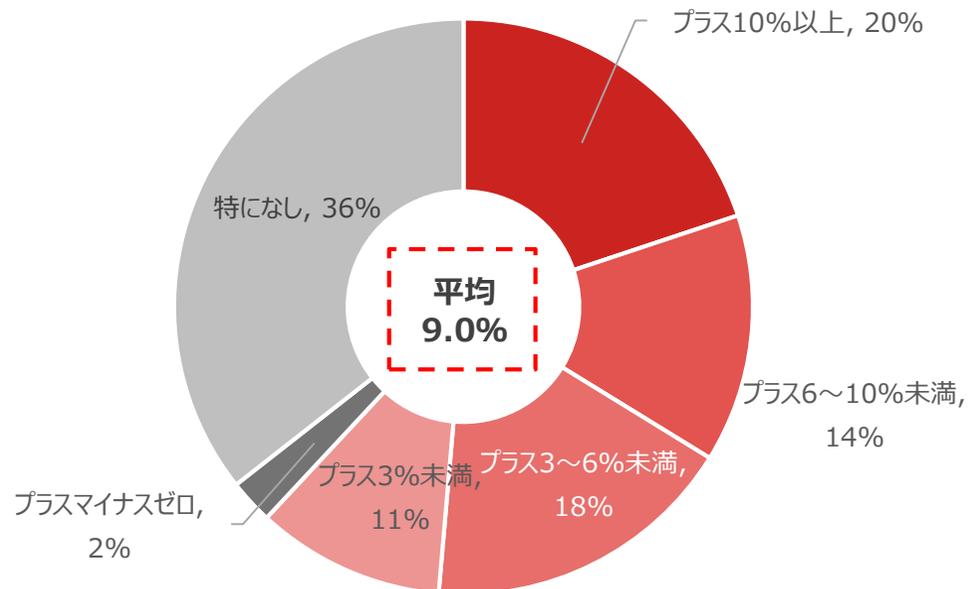
実績利回り（年率）

■ わかる ■ わからない（確認方法は知っている） ■ わからない（確認方法を知らない）

0% 20% 40% 60% 80% 100%



期待利回り（年率）



Ⅲ 金融リテラシーと継続投資教育

金融リテラシー調査

■ 金融リテラシー・テストの正答率は、比較可能な①～⑤の項目すべてにおいてOECD調査よりも低い

金融リテラシー・テストの結果比較

	【正答率】	今回弊社調査 (2024.11)	OECD調査 (2023)
OECD調査との比較 <International Network on Financial Education>			
①金利	Q) 100万円を年率2%の利息がつく預金口座に預け入れました。それ以外、この口座への入金や出金はなかった場合、 <u>1年後、口座の残高はいくら</u> になっているでしょうか。	38%	56%
②複利	Q) また5年後には口座の残高はいくらになっているでしょうか。利息にかかる税金は考慮しないで回答ください。	26%	45%
③インフレの定義	Q) 高インフレの時には、生活に使うものやサービスの値段全般が急速に上昇する <正誤の選択>	43%	87%
④リスク・リターン認識	Q) 平均以上の高いリターンのある投資には、平均以上の高いリスクがあるものだ <正誤の選択>	54%	79%
⑤分散投資	Q) 1社の株を買うことは、通常、株式投資信託を買うよりも安全な投資である <正誤の選択>	37%	60%
⑥債券価格	Q) 金利が上がったら、通常、債券価格も上がる <正誤の選択>	20%	NA
⑦住宅ローン(固定/変動)	Q) 金利が上がっていくときに、資金の運用は固定金利、借入れは変動金利にする <正誤の選択>	26%	NA
	(平均値)	40% (①～⑤平均) 35% (①～⑦平均)	65%

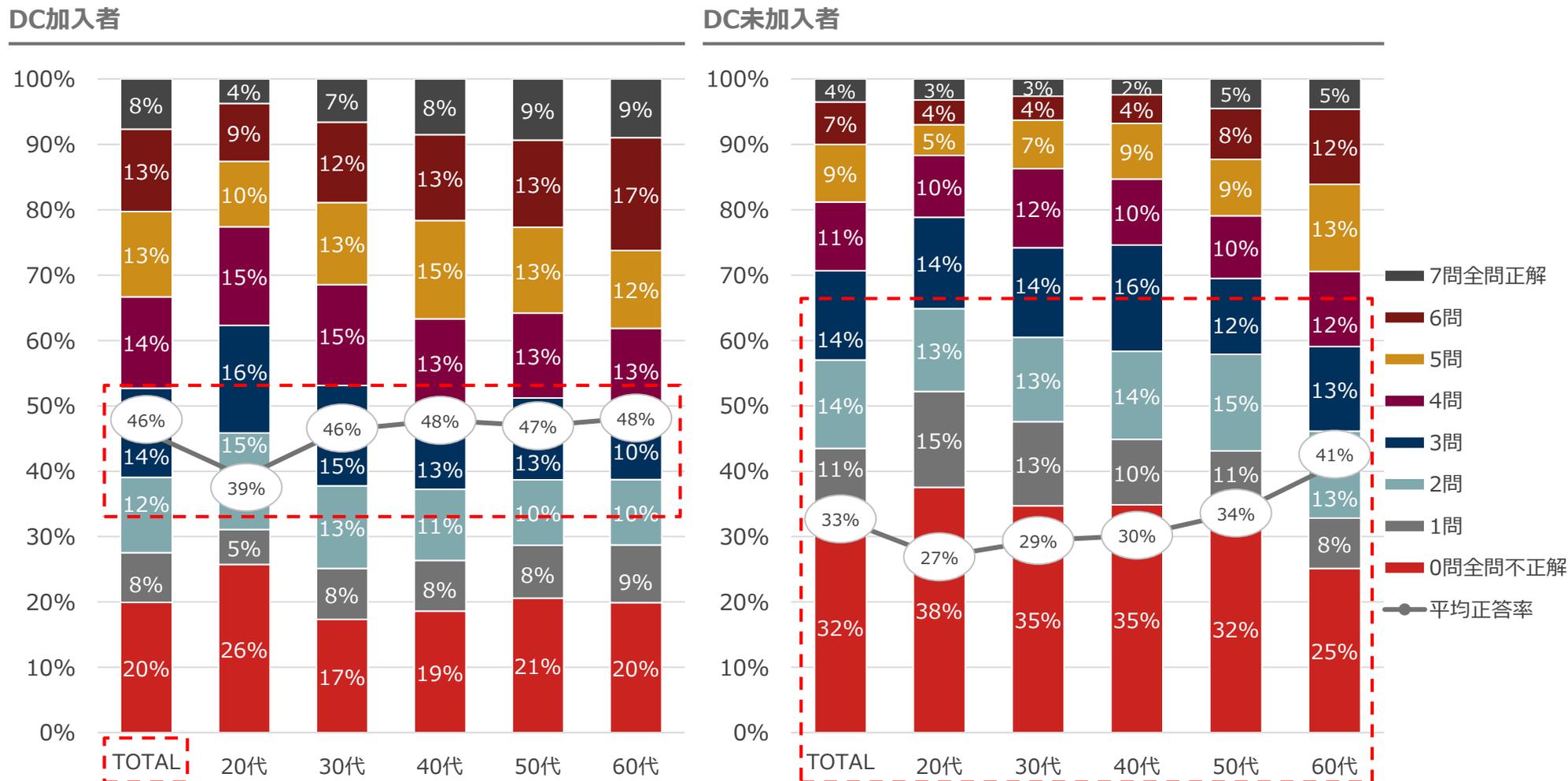
金融リテラシー・テスト参加者数 : n=9,053

(注) 下記資料より野村アセットマネジメント作成
 ・金融広報中央委員会(事務局・日本銀行情報サービス局内)「金融リテラシー調査(2022年)」
 ・OECD/INFE 2023 international survey of adult financial literacy

当資料は意識調査の内容を開示することを目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しております。当資料に示された内容等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない/保証するものではありません。また特定の銘柄の推奨や売買等を示唆するものではありません。

金融リテラシー・テストの正答率

- DC加入者は未加入者に比べて、どの年代でも平均正答率が高い
- DC未加入者は加入者に比べてリテラシーが低い（正解数が2問以下）割合が高い



当資料は意識調査の内容を開示することを目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しております。当資料に示された内容等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。また特定の銘柄の推奨や売買等を示唆するものではありません。

元本確保型の保有割合とリテラシー・利回り・満足度

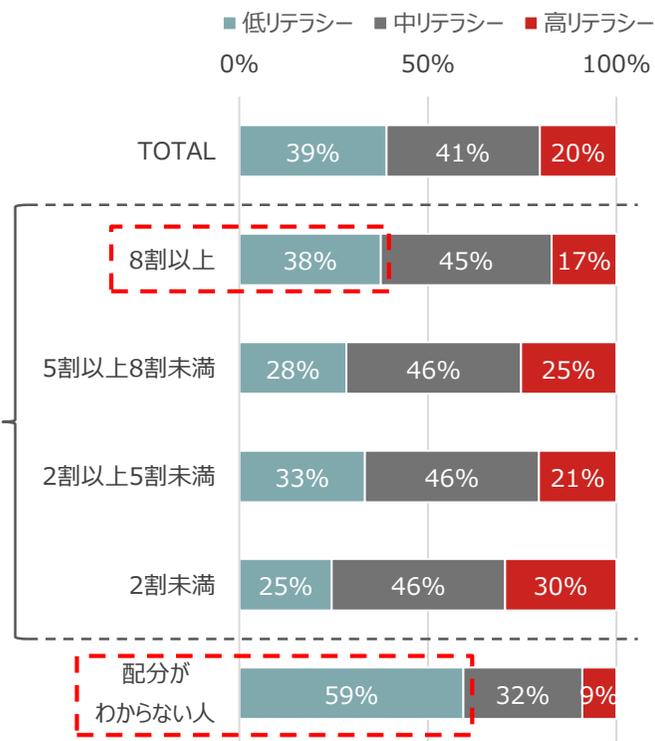
- 元本確保型の保有割合が8割以上の人は低リテラシー（※）の割合が高く、配分がわからない人も低リテラシーの割合が高い
- 元本確保型の割合が低いほど実績利回りが高く、運用パフォーマンスの満足度が高い傾向がある

右下グラフのQ) 確定拠出年金制度（企業型DC・iDeCo）の以下の項目について、あなたの満足度をお答えください。（単一回答 DC加入者 n=6,324）

※企業型DCとiDeCoを併用している方は、企業DCについてお答えください。

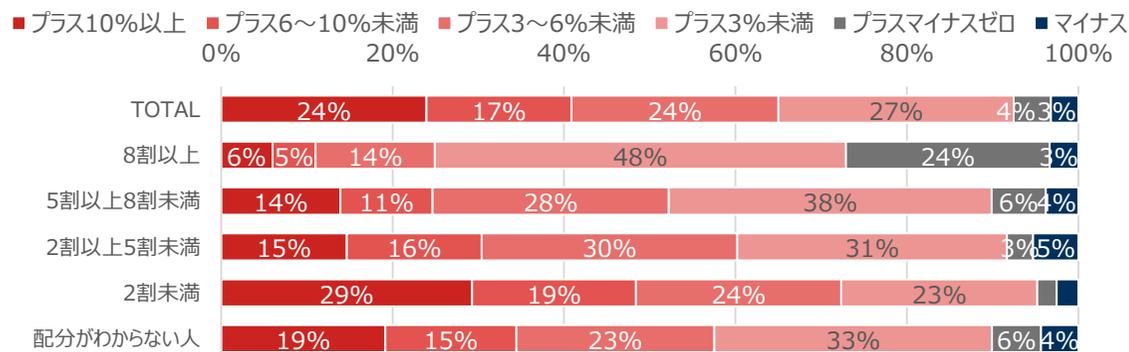
元本確保型の割合×金融リテラシー・テストの結果

元本確保型の保有割合

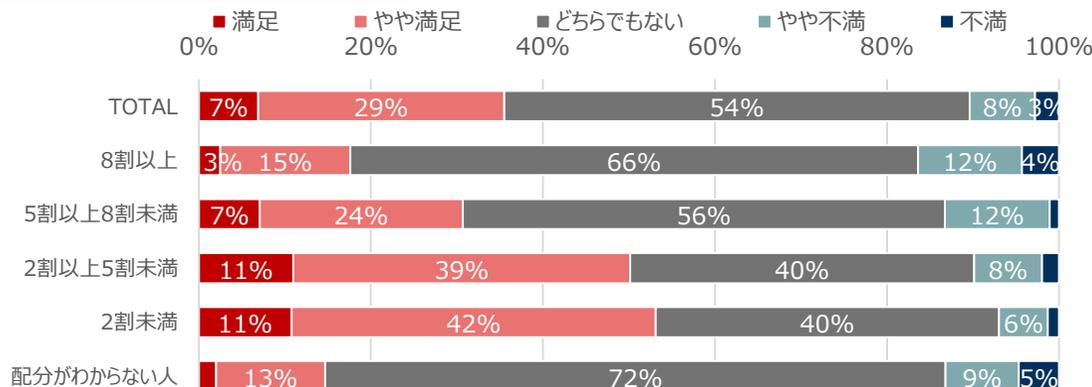


※「低リテラシー」は金融リテラシー・テストで0～2問正解、「中リテラシー」は3～5問正解、「高リテラシー」は6～7問正解の人を集計

元本確保型の割合×実績利回り（企業型DC・iDeCoの合算、利回りがわかる人のみ）



元本確保型の割合×運用パフォーマンスの満足度



当資料は意識調査の内容を開示することを目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しております。当資料に示された内容等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。また特定の銘柄の推奨や売買等を示唆するものではありません。

企業型DCにおける投資教育の受講経験

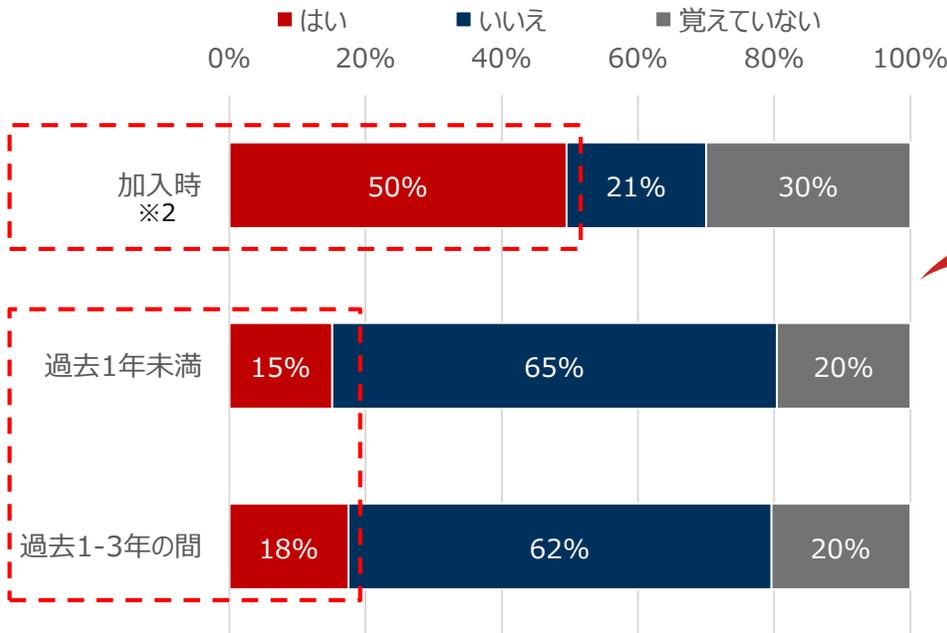
- 企業型DC加入時に勤務先などで投資教育を受けたと回答した人は50%
- 過去3年以内に継続投資教育を受けたと回答した人は約2割にとどまる
- 受講の方法は、加入時では「対面での説明」が多く、過去3年以内では「オンラインでの説明」「動画の視聴」が多い

Q) あなたは、企業型DCに関して、勤務先などで投資教育を受けたことはありますか。
 (単一回答 企業型DC加入者 or 選択制DC導入企業で勤務する人 ※1 n=4,282)

(注) 投資教育とは、事業主が加入者に運用等に関する情報を提供すること (資料での情報提供を含む)

Q) 企業型DCの加入時、過去1年未満、過去1-3年の間のそれぞれの投資教育における受講方法についてあてはまるものをすべてお答えください。
 (複数回答 継続投資教育の受講経験者 ※3 n=2,194)

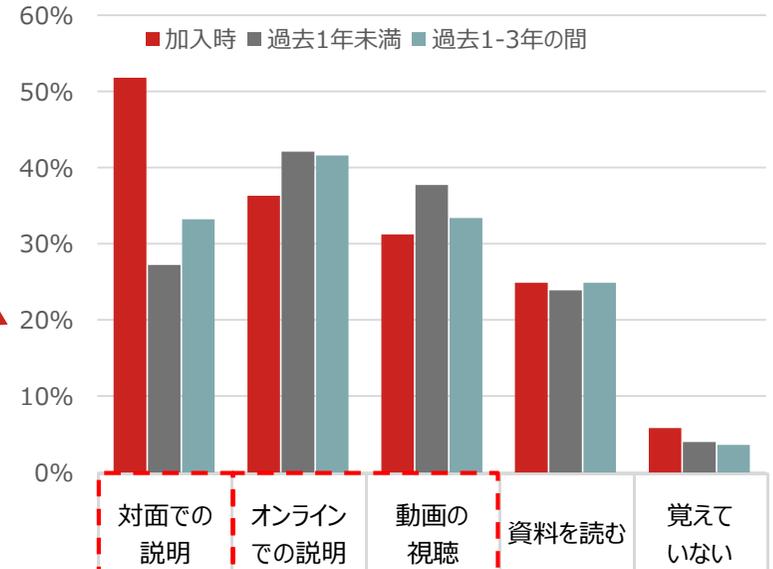
継続投資教育の受講経験



※1 選択制DC導入企業で勤務する人とは、「あなたが働いている企業・団体では、選択制DCが導入されていますか」という設問に「はい」と答えた人を指す (以下、同)

※2 加入時は企業型DC加入者のみ回答

継続投資教育で受講した方法



「はい」と答えた人のみ回答

加入時	過去1年未満	過去1-3年の間
対面での説明	52%	33%
オンラインでの説明	36%	42%
動画の視聴	31%	33%
資料を読む	25%	25%
覚えていない	6%	4%

※3 継続投資教育の受講経験者とは加入時、過去1年未満、過去1-3年の間のいずれかにおいて投資教育を受けたと回答した人を指す (以下、同)

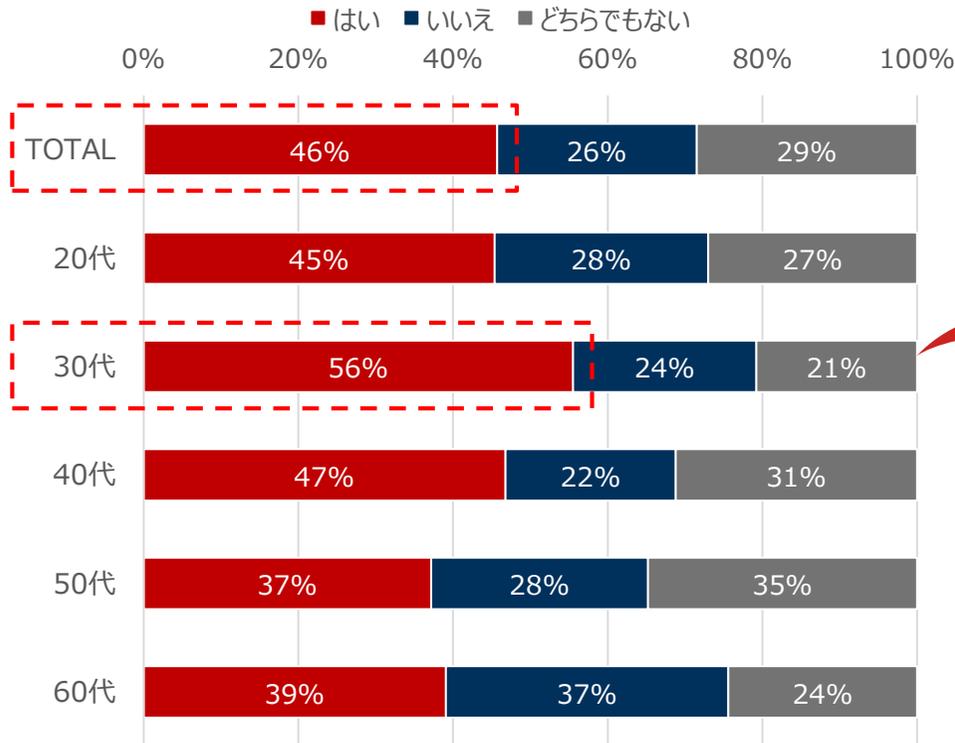
企業型DCにおける継続投資教育の受講意向

- 勤務先などで継続投資教育を受けたい人は46%。年代別では30代が56%と他の年代に比べて割合が高い
- 希望する継続投資教育の受講方法は、「動画の視聴」「オンラインでの説明」が多く、次いで「対面での説明」が続く

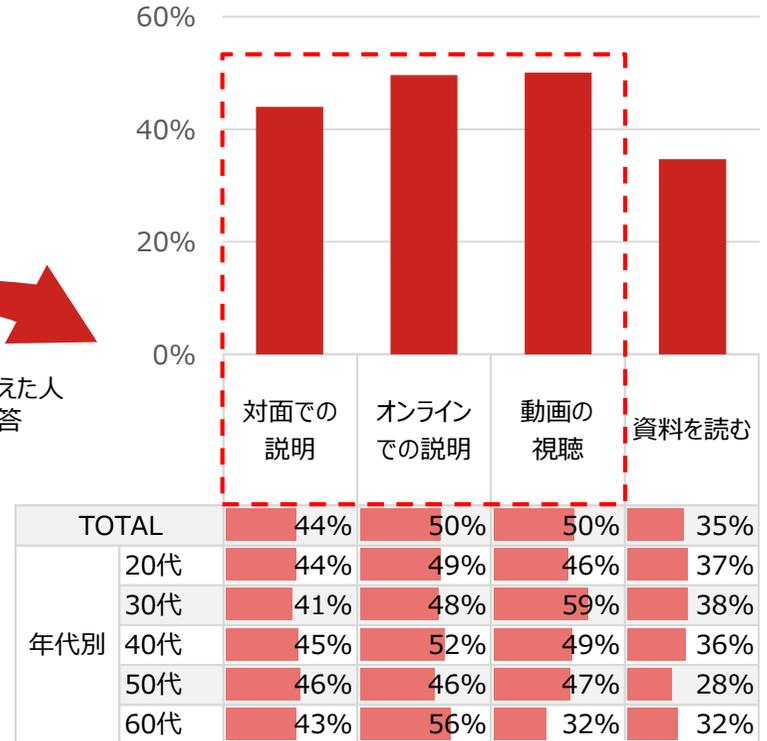
Q) あなたは、企業型DCに関して、勤務先などで投資教育を受けたいですか。
(単一回答 企業型DC加入者 or 選択制DC導入企業で勤務する人 n=4,282)

Q) 今後投資教育をどのような方法で受講したいですか。あてはまるものをすべてお答えください。
(複数回答 継続投資教育の受講意向者※ n=2,039)

継続投資教育の受講意向



継続投資教育で受講したい方法



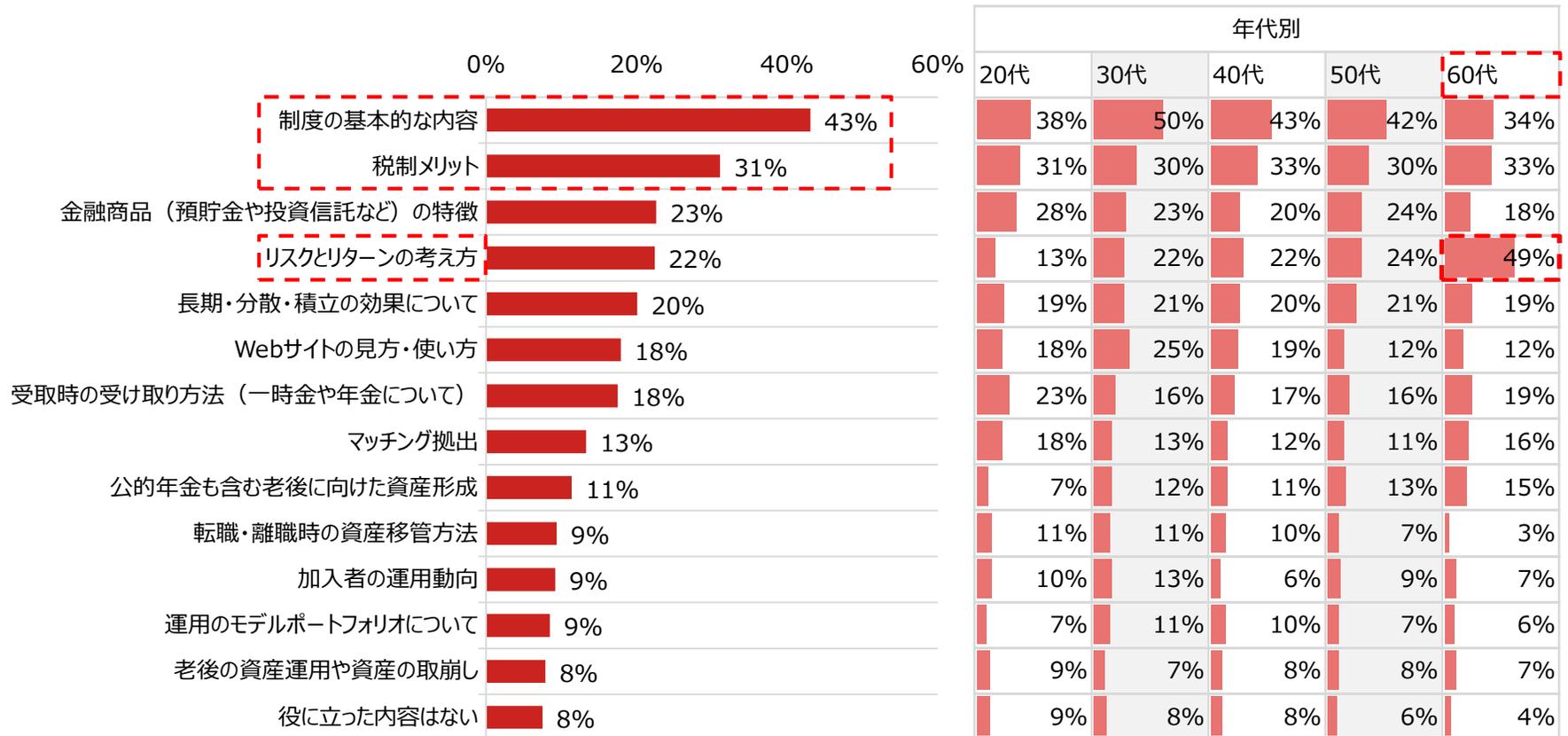
「はい」と答えた人のみ回答

※継続投資教育の受講意向者とは、勤務先などで投資教育を受けたいと回答した人を指す（以下、同）

継続投資教育で役に立った内容

- 「制度の基本的な内容」が43%と最も多く、「税制メリット」が31%と続く
- 60代では「リスクとリターンの考え方」が最も多い

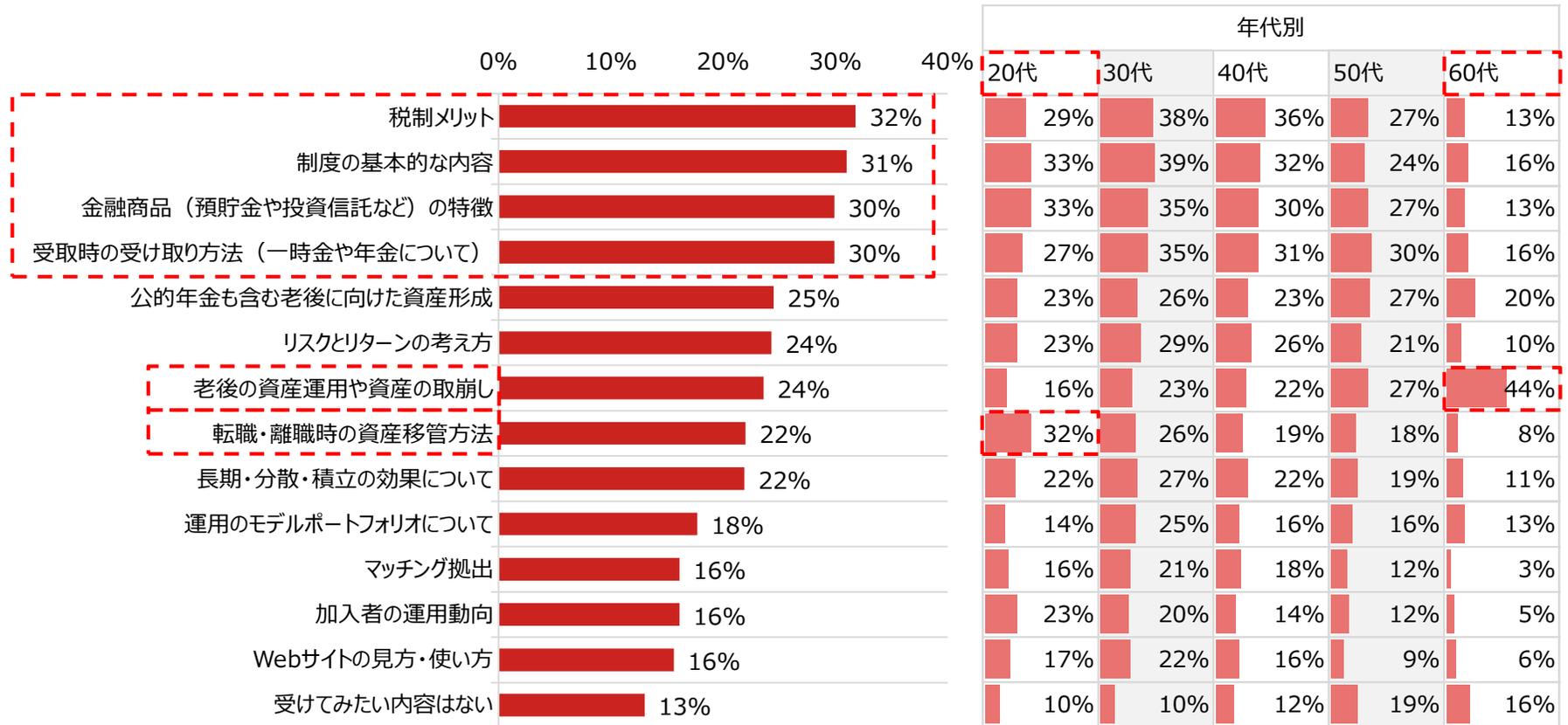
Q) 企業型DCの加入時や、企業型DCに関する投資教育に関して、役に立った内容としてあてはまるものをすべてお答えください。(複数回答 継続投資教育の受講経験者 n=2,194)



継続投資教育で今後受けてみたい内容

- 「税制メリット」「制度の基本的な内容」「金融商品の特徴」「受取時の受け取り方法」の4つが多い
- 20代では「転職・離職時の資産移管方法」、60代では「老後の資産運用や資産の取崩し」が他の年代と比べ割合が高い

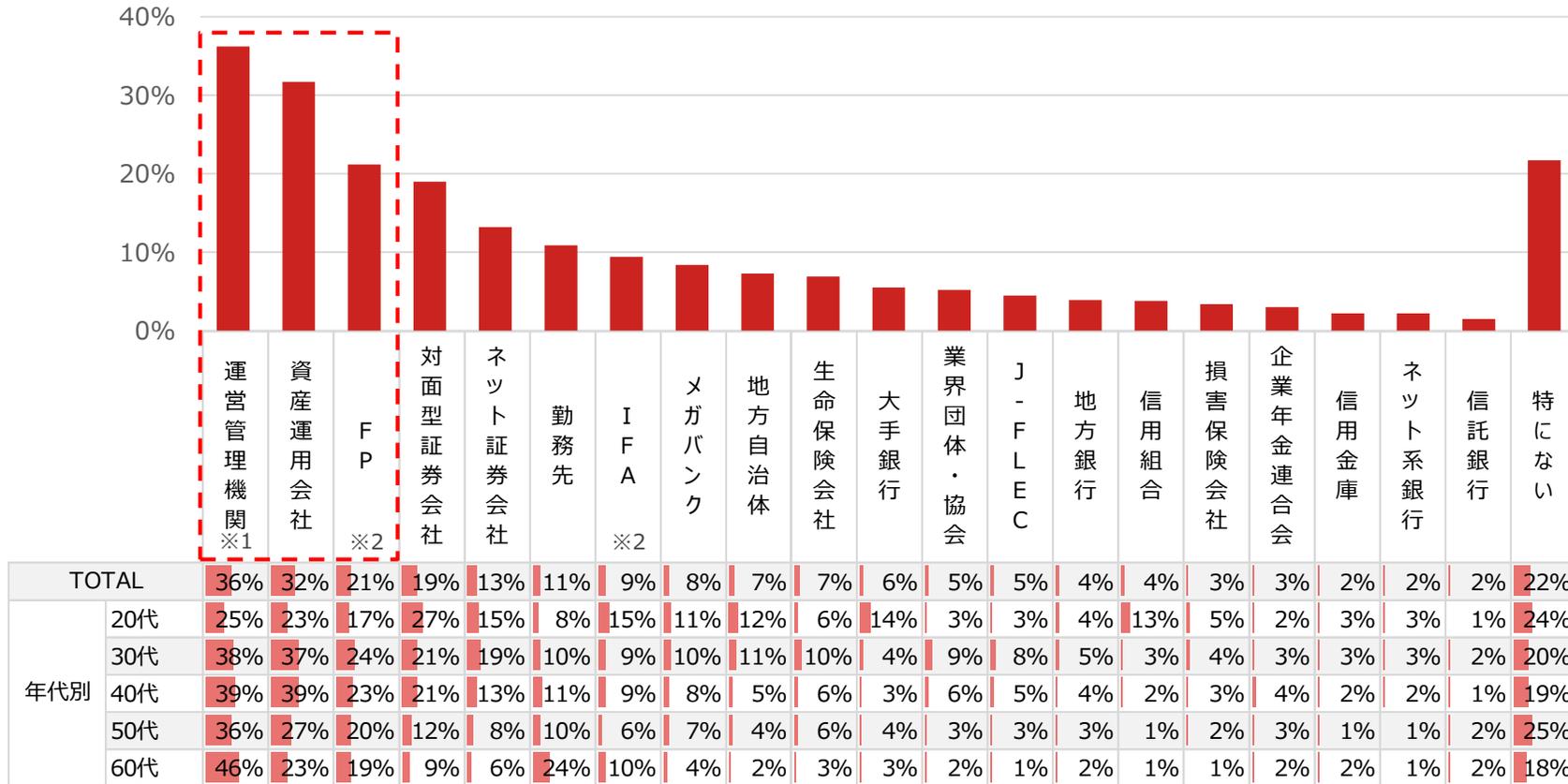
Q) 企業型DCに関する投資教育に関して、今後受けてみたい投資教育の内容としてあてはまるものをすべてお答えください。
 (複数回答 継続投資教育の受講経験者 or 継続投資教育受講の意向者 n=2,886)



継続投資教育を受けたい受講先

- 「運営管理機関」が36%と最も多く、「資産運用会社」が32%、「FP」が21%と続く
- 60代では「勤務先」が24%と他の年代と比べ割合が高い

Q) 企業型DCについて教育を受けるとしたら、あなたはどのような組織や人から受けたいですか。(複数回答 継続投資教育の受講経験者 or 継続投資教育の受講意向者 n=2,886)



※1 「運営管理機関」は確定拠出年金制度の運営・管理を行う機関のこと

※2 「FP」はファイナンシャル・プランナー、「IFA」は独立系ファイナンシャル・アドバイザーを指す

当資料は意識調査の内容を開示することを目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しております。当資料に示された内容等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。また特定の銘柄の推奨や売買等を示唆するものではありません。

Appendix

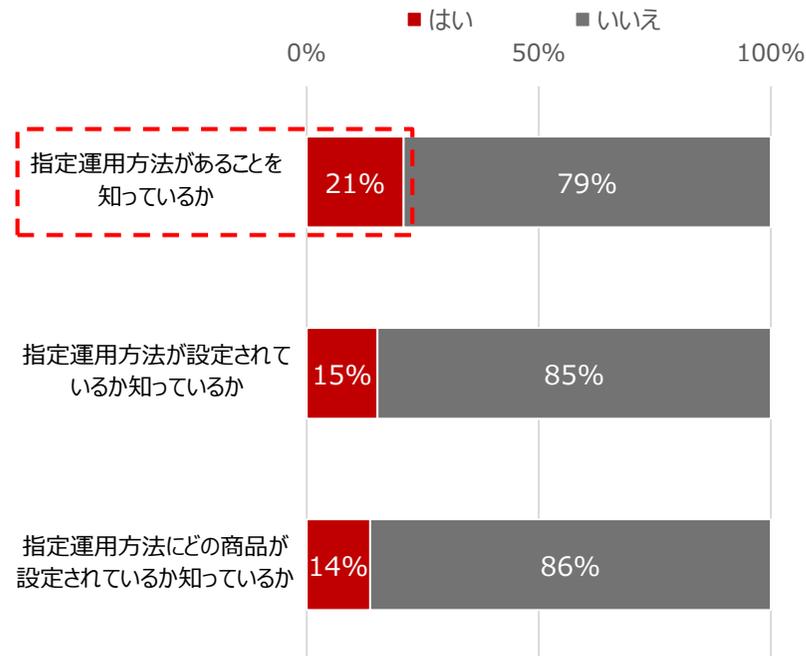
指定運用方法

- 指定運用方法があることについて認知している人はDC加入者の21%
- 指定運用方法で望ましいと思う商品は「リスクを抑えつつ増やせるもの」「損をしないもの」が多い

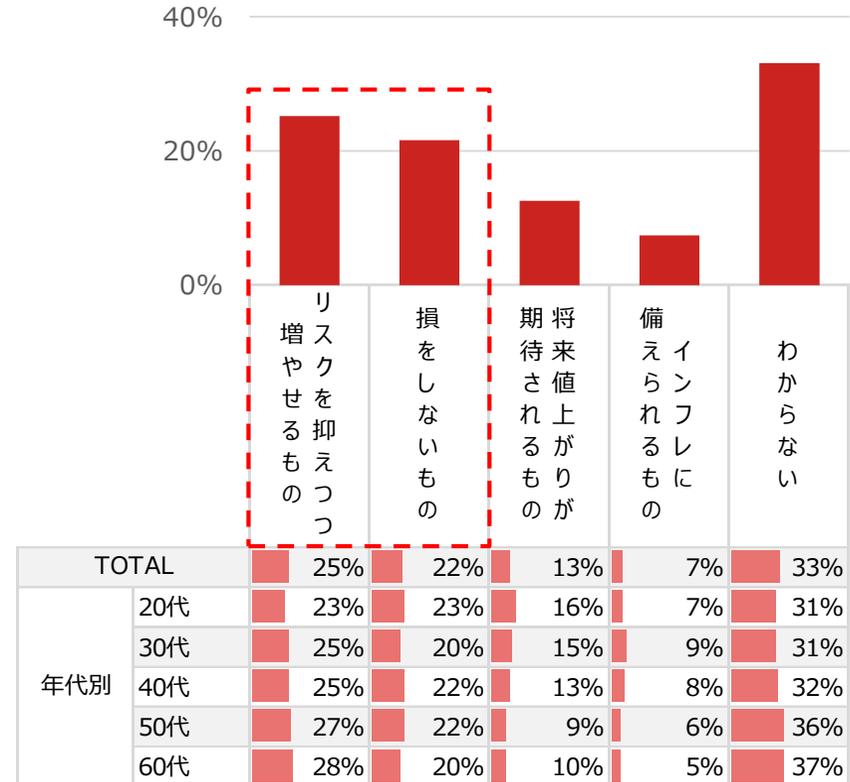
Q) 確定拠出年金（企業型DC・iDeCo）において、運用する商品を選ばなかった場合に、事業主や運営管理機関が決めた商品で運用する「指定運用方法」について、あなたにあてはまるものをお答えください。（単一回答 DC加入者 n=6,324）

Q) あなたは、「指定運用方法」にどのような商品が設定されているのが望ましいと思いますか。（単一回答 DC加入者 n=6,324）

指定運用方法の認知



指定運用方法で望ましいと思う商品

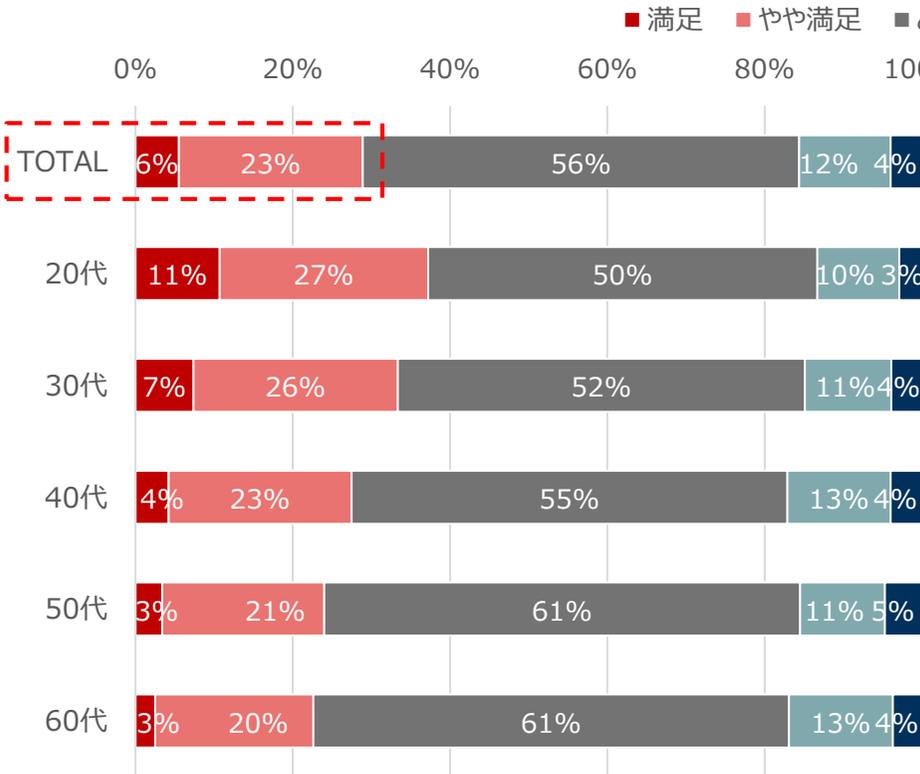


確定拠出年金制度における満足度（Webサイト）

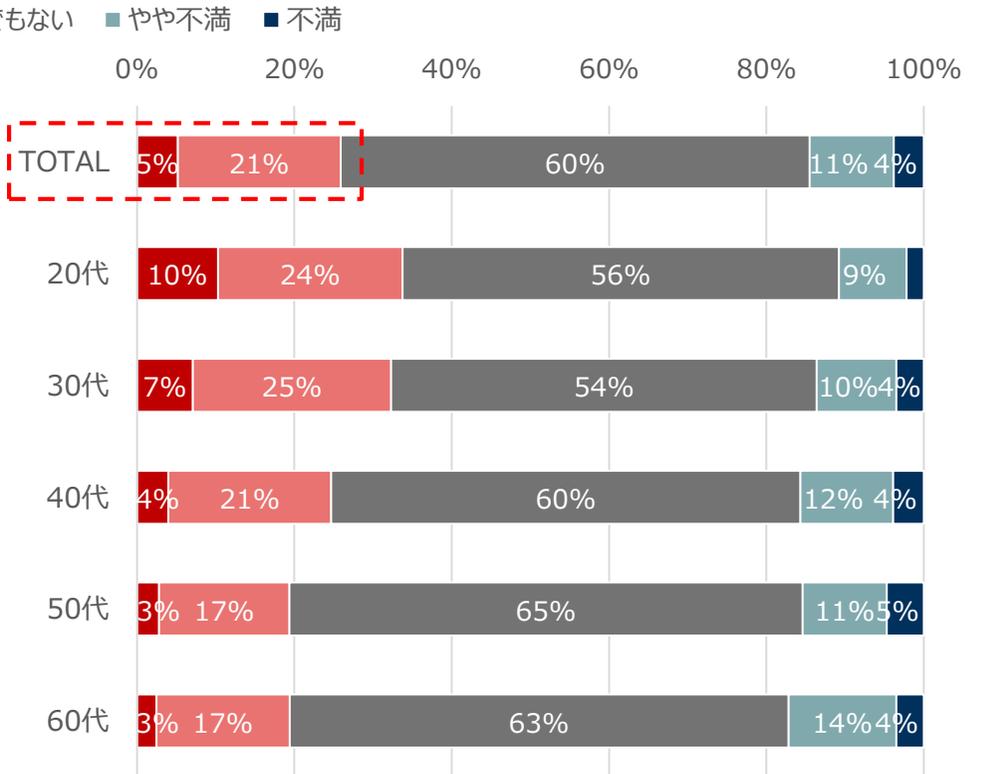
- Webサイトの使い勝手に満足している（※）人は約3割。若い世代ほどその割合が高い
- Webサイトでの投資情報の提供に満足している人も約3割。若い世代ほどその割合が高い

Q) 確定拠出年金制度（企業型DC・iDeCo）の以下の項目について、あなたの満足度をお答えください。（単一回答 DC加入者 n=6,324）
 ※企業型DCとiDeCoを併用している方は、企業DCについてお答えください。

Webサイトの使い勝手



Webサイトでの投資情報の提供



※満足しているは「満足」と「やや満足」との回答を集計

当資料は意識調査の内容を開示することを目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しております。当資料に示された内容等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。また特定の銘柄の推奨や売買等を示唆するものではありません。

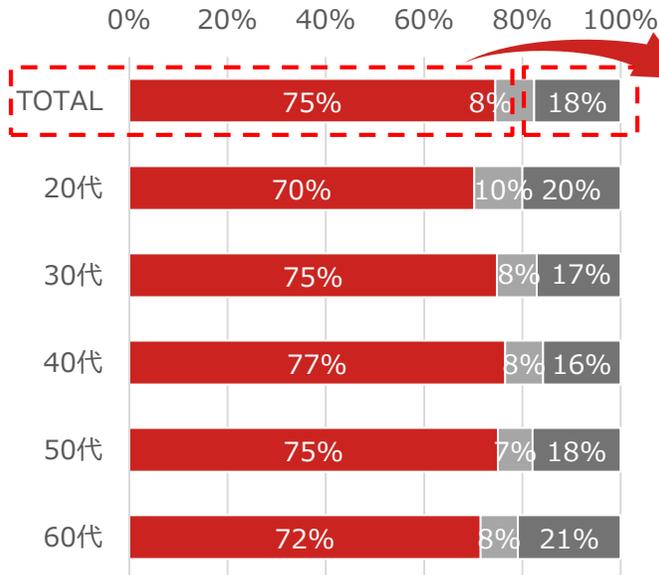
残高確認の頻度

- 運用資産の残高を確認したことがある人は75%。「年に数回」「年1回」の頻度で確認している人が多い
- 残高を確認したことがない人のうち、確認方法がわからない人は18%

Q) あなたは、運用している確定拠出年金（企業型DC・iDeCo）について、以下の行動をどのくらいの頻度でしていますか。（単一回答 DC加入者 n=6,324）
 ※企業型DCとiDeCoを併用している方は、企業型DCについてお答えください。

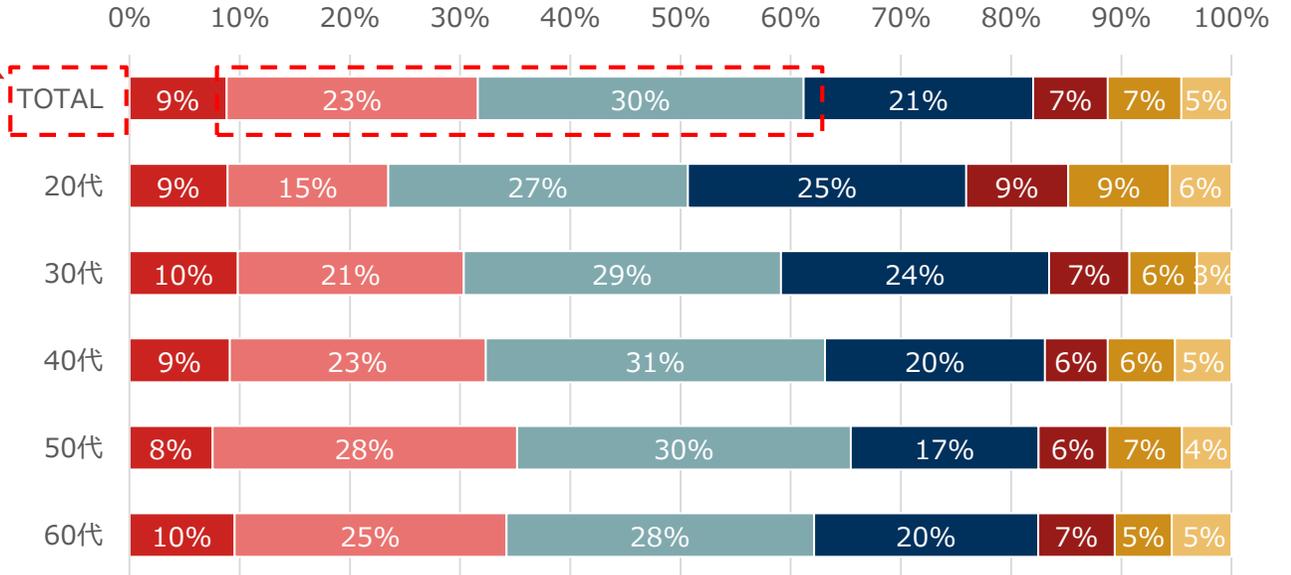
残高を確認したことがあるか

- 確認したことがある
- 確認したことはない（確認方法はわかる）
- 確認したことはない（確認方法がわからない）



残高確認をしたことがある人の確認頻度

- 数年に1回
- 年1回
- 年に数回
- 月1回
- 週1回
- 数日おき
- 毎日



配分変更・スイッチングの頻度

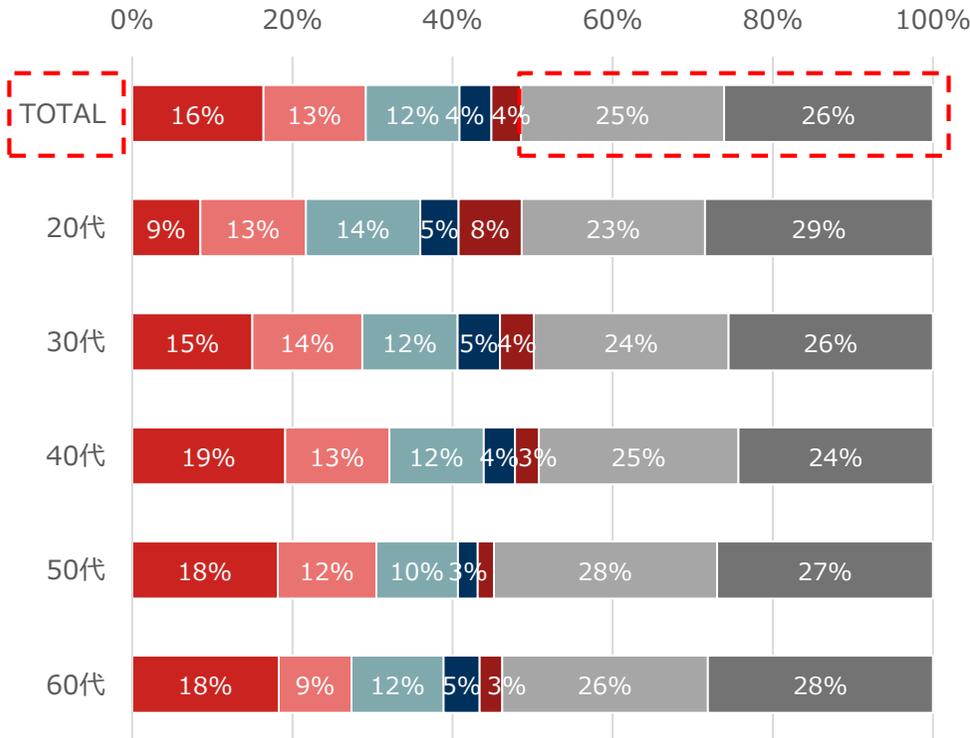
- 確定拠出年金における運用資産について、配分変更をしたことがない人は半数を超える
- 確定拠出年金における運用資産について、スイッチングをしたことがない人は6割を超える

Q) あなたは、運用している確定拠出年金（企業型DC・iDeCo）について、以下の行動をどのくらいの頻度でしていますか。（単一回答 DC加入者 n=6,324）
 ※企業型DCとiDeCoを併用している方は、企業型DCについてお答えください。

配分変更

スイッチング

■ 数年に1回 ■ 年1回 ■ 年に数回 ■ 月1回 ■ 週1回、数日おき、毎日 ■ 変更したことはない（変更方法はわかる） ■ 変更したことはない（変更方法がわからない）

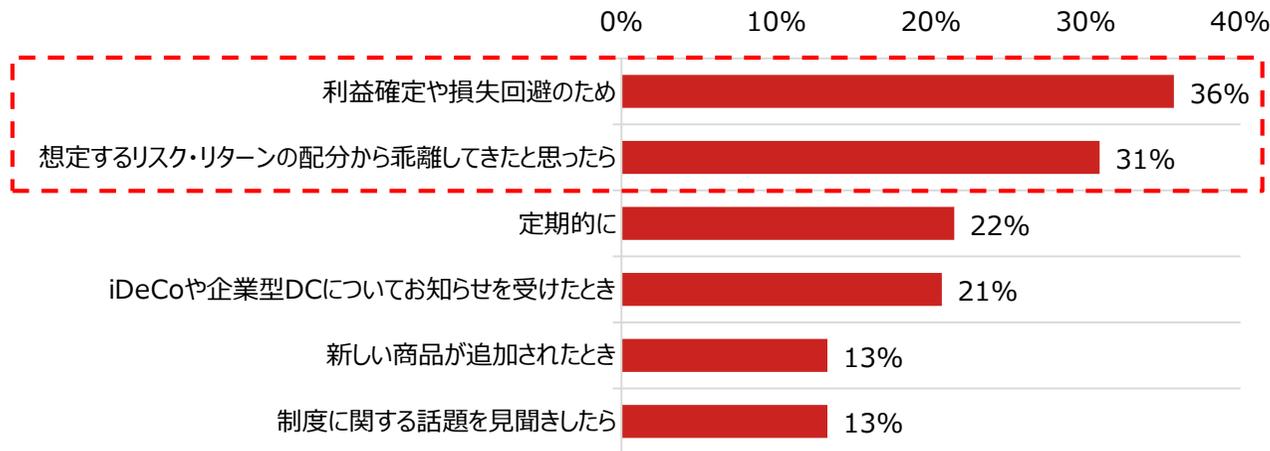


当資料は意識調査の内容を開示することを目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しております。当資料に示された内容等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない/保証するものではありません。また特定の銘柄の推奨や売買等を示唆するものではありません。

配分変更・スイッチングのきっかけ

■ 「利益確定や損失回避のため」が36%と最も多く、「想定するリスク・リターンの配分から乖離してきたと思ったら」が31%と続く

Q) あなたが、確定拠出年金（企業型DC・iDeCo）の運用商品の配分変更やスイッチングを行うきっかけとしてあてはまるものをすべてお答えください。
 （複数回答 配分変更・スイッチング実施者※ n=3,263）



	年代別				
	20代	30代	40代	50代	60代
利益確定や損失回避のため	31%	32%	38%	38%	42%
想定するリスク・リターンの配分から乖離してきたと思ったら	35%	31%	31%	28%	32%
定期的	28%	25%	21%	16%	16%
iDeCoや企業型DCについてお知らせを受けたとき	26%	21%	19%	20%	19%
新しい商品が追加されたとき	14%	20%	13%	8%	11%
制度に関する話題を見聞きしたら	15%	16%	13%	10%	15%

※配分変更・スイッチング実施者とは前ページにて、配分変更・スイッチングの頻度について「変更したことはない」以外の回答をした人を指す

当資料は意識調査の内容を開示することを目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しております。当資料に示された内容等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。また特定の銘柄の推奨や売買等を示唆するものではありません。

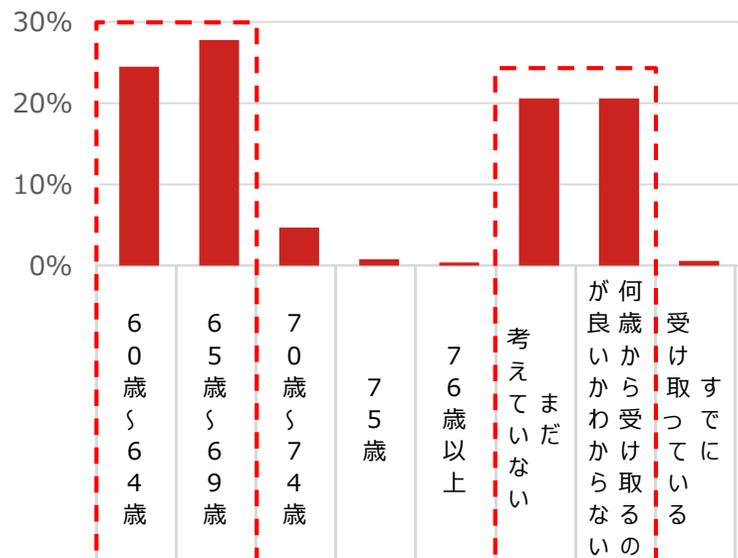
老齢給付金を受け取りたい年齢・受取方法：企業型DC

- 老齢給付金を60代後半から受け取りたいと考えている人が最も多く、60代前半が続く。「まだ考えていない」「何歳から受け取るのが良いかわからない」は約4割
- 60代では「年金」としての受け取りを想定している人が最も多く、「一時金」での受け取りが続く

Q) あなたは、確定拠出年金（企業型DC）を、何歳から受け取りたいですか。
（単一回答 企業型DC加入者 n=3,956）

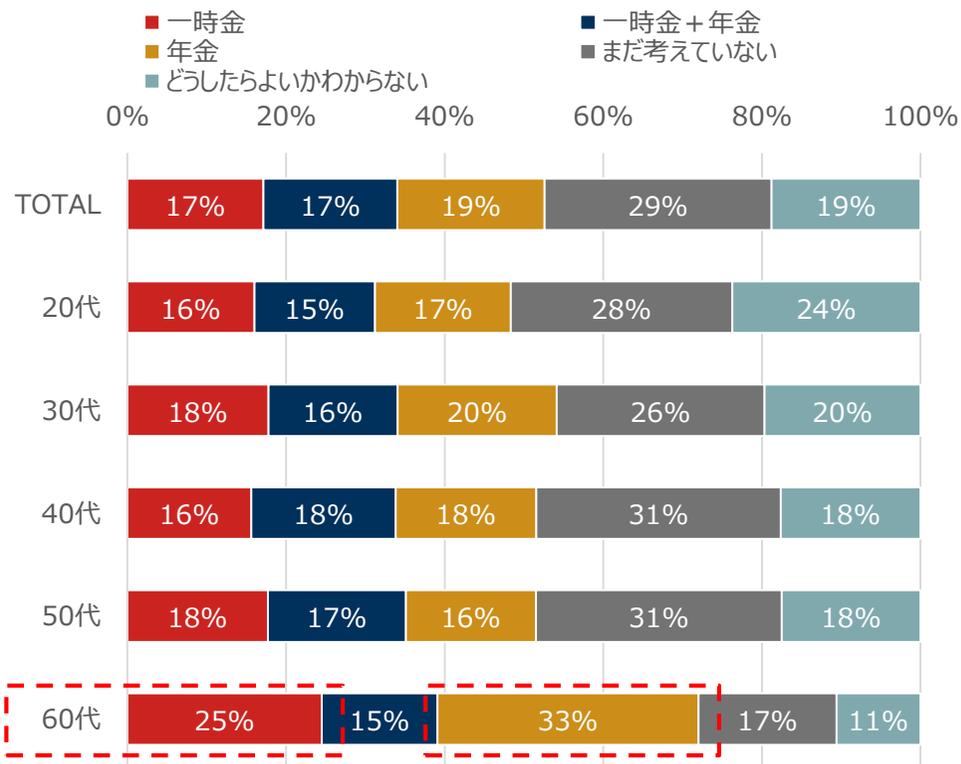
Q) 確定拠出年金（企業型DC）に関して、あなたはどのような受け取り方を想定していますか。
（単一回答 企業型DC加入者 n=3,956）
※すでに受け取っている方は、受け取っている方法をお答えください。

老齢給付金を受け取りたい年齢



	60歳以下	65歳以下	70歳以下	75歳	76歳以上	考えていない	何歳から受け取るのが良いかわからない	受け取っていない
TOTAL	25%	28%	5%	1%	0%	21%	21%	1%
20代	26%	20%	4%	2%	1%	20%	26%	—
30代	27%	24%	5%	1%	0%	20%	23%	—
40代	23%	30%	5%	1%	0%	23%	18%	—
50代	24%	33%	4%	0%	0%	20%	19%	—
60代	22%	33%	9%	1%	0%	14%	9%	13%

老齢給付金の受け取り方法



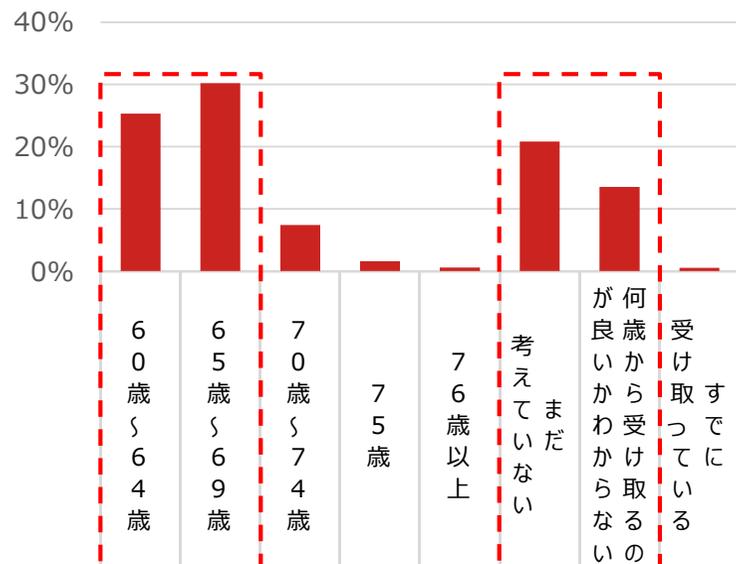
老齢給付金を受け取りたい年齢・受取方法：iDeCo

- 老齢給付金を60代後半から受け取りたいと考えている人が最も多く、60代前半が続く。「まだ考えていない」「何歳から受け取るのが良いかわからない」は3割強
- 60代では「一時金」としての受け取りを想定している人が最も多く、「年金」での受け取りが続く

Q) あなたは、確定拠出年金（iDeCo）を、何歳から受け取りたいですか。
 (単一回答 iDeCo加入者 n=3,479)

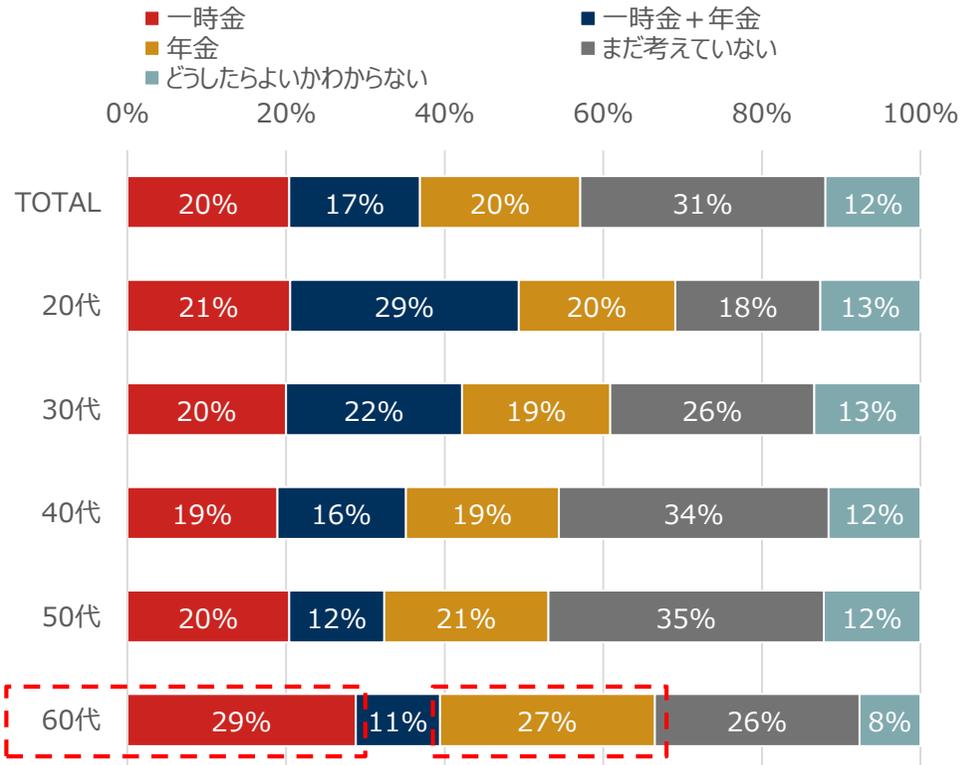
Q) 確定拠出年金（iDeCo）に関して、あなたはどのような受け取り方を想定していますか。（単一回答 iDeCo加入者 n=3,479）
 ※すでに受け取っている方は、受け取っている方法をお答えください。

老齢給付金を受け取りたい年齢



TOTAL		25%	30%	7%	2%	1%	21%	14%	1%
年代別	20代	29%	27%	9%	4%	3%	12%	16%	—
	30代	30%	26%	7%	2%	1%	19%	15%	—
	40代	24%	29%	8%	1%	0%	23%	14%	—
	50代	25%	33%	6%	1%	0%	22%	13%	—
	60代	15%	34%	11%	3%	1%	21%	8%	8%

老齢給付金の受け取り方法

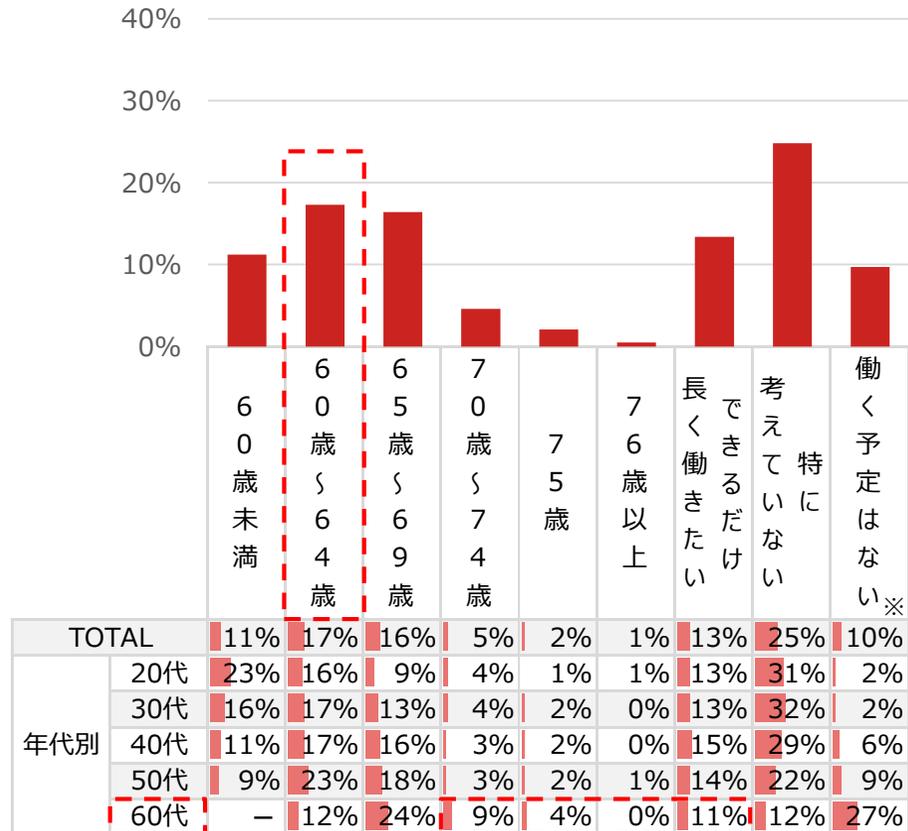


リタイアメントと公的年金の受給開始年齢

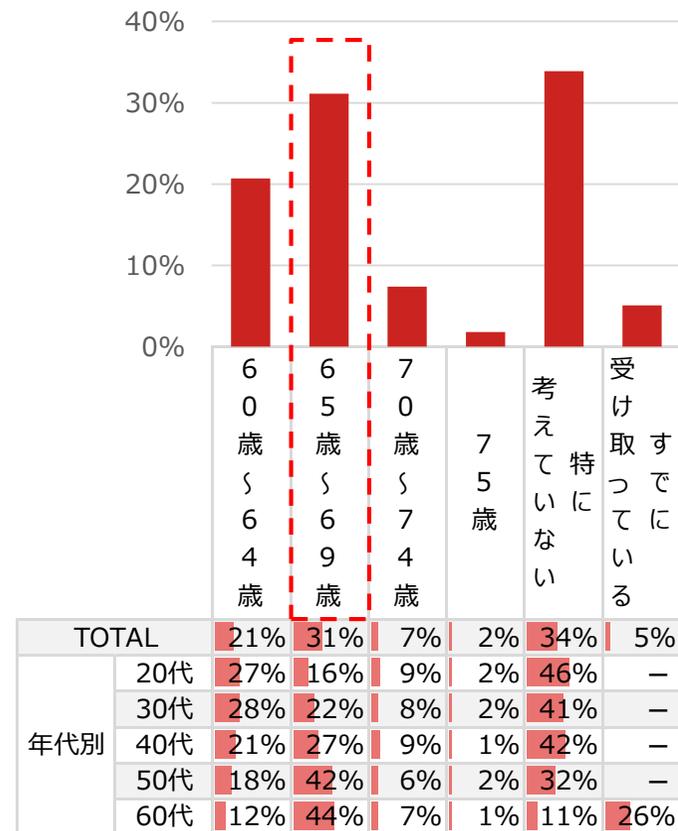
- 働き続けたい年齢は「60～64歳」までが最も多いが、公的年金を受け取りたい年齢は「65～69歳」が多い
- 60代では「できるだけ長く働きたい」人を含めると70歳以降も働く意向がある人はおよそ4人に1人

Q) あなたは、何歳まで働きたいと思いますか。また、公的年金は何歳から受け取りたいと思いますか。(単一回答 全体 n=9,053)

働き続けたい年齢



公的年金を受け取りたい年齢



※「働く予定はない」は有職者ではない人のみ回答

当資料は意識調査の内容を開示することを目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しております。当資料に示された内容等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。また特定の銘柄の推奨や売買等を示唆するものではありません。



野村アセットマネジメント
資産運用研究所

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会／
一般社団法人日本投資顧問業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会